

わが家の防災メモ いざという時に備えて、書き込んでおきましょう

地震・津波の避難場所

洪水・土砂災害の避難場所

家族の集合場所

●わが家の緊急連絡先一覧

名称・氏名	住所	電話番号

役 場

せたな町役場	Tel. 0137-84-5111
大成支所	Tel. 01398-4-5511
瀬棚支所	Tel. 0137-87-3311

医療機関

せたな町立国保病院	Tel. 0137-84-5321
大成診療所	Tel. 01398-4-5175
瀬棚診療所	Tel. 0137-87-2470

停電等に関すること

北海道電力ネットワーク	Tel. 0120-06-0913
-------------	-------------------

警 察

事件・事故は → **110**

せたな警察署	Tel. 0137-84-6110
若松駐在所	Tel. 0137-85-1242
大成駐在所	Tel. 01398-4-5454
宮野駐在所	Tel. 01398-4-5121
瀬棚駐在所	Tel. 0137-87-3003

消 防

火災と救急・救助は → **119**

せたな消防署	Tel. 0137-84-5709
大成支署	Tel. 01398-4-5401
瀬棚分遣所	Tel. 0137-87-3344



このハンドブックは公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて作成しています。



せたな町防災マップ WEB版
インターネットでもハザードマップを確認
することができます。

せたな町 防災 ハンドブック

もしもの災害に
備えて!



地震・津波

P 1 ~ P14

洪水・土砂災害

P15 ~ P42

災害への備え

P43 ~ P46

非常持ち出し品

P47

避難先一覧

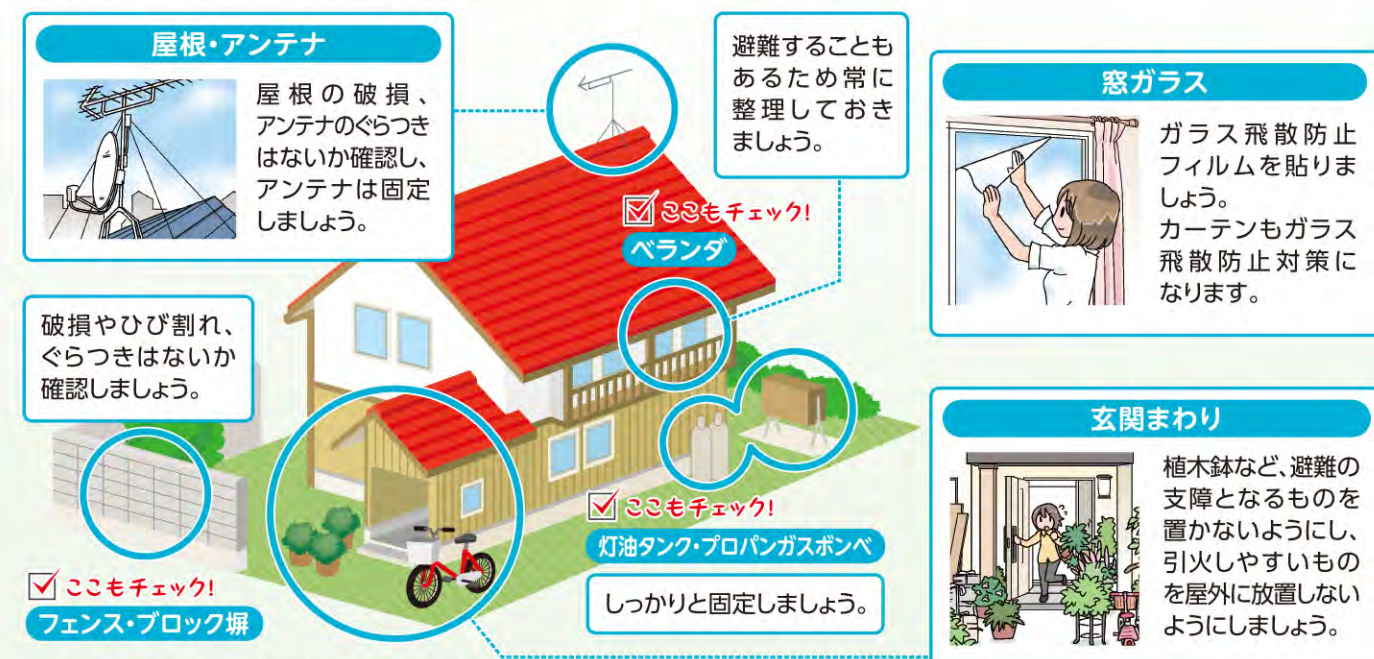
P48 ~ P50

地震・津波災害への備え

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限に抑えるためにも、日頃から準備をしておきましょう。

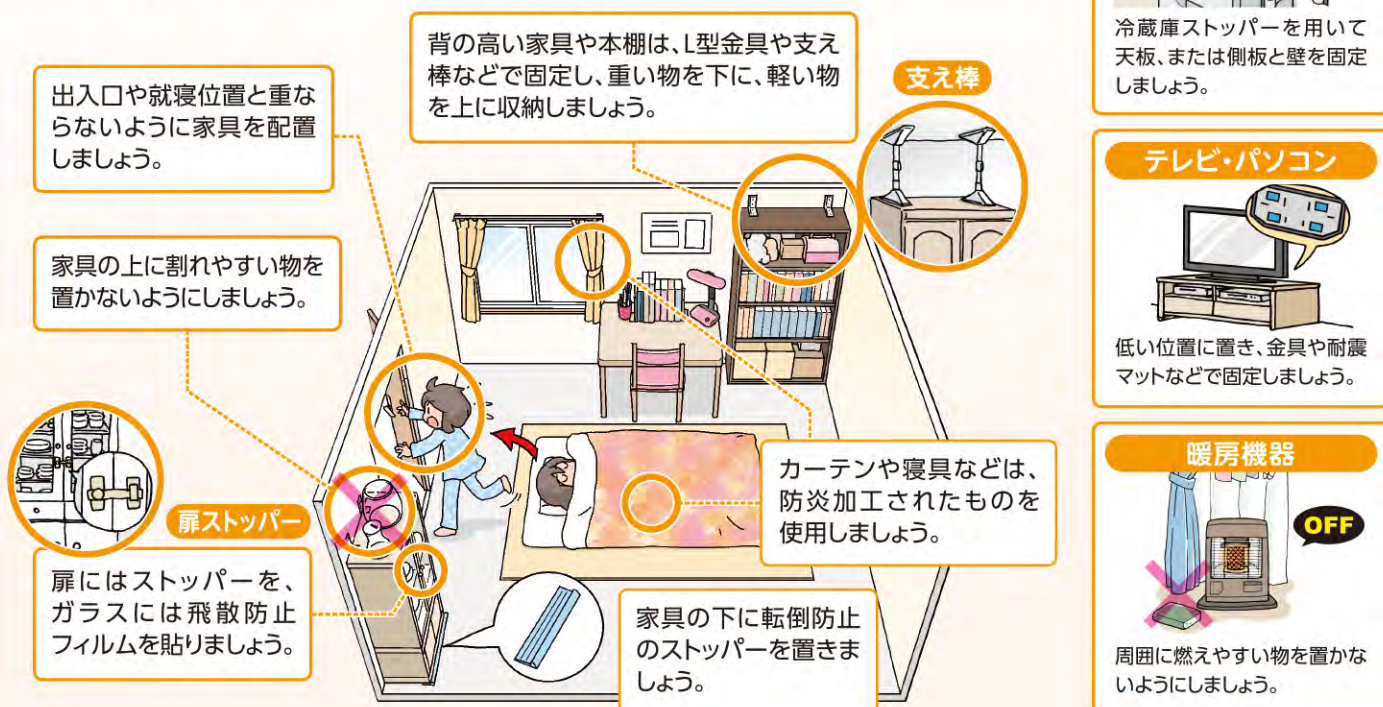
屋外の地震対策

地震による被害を減らすために自宅の安全対策について点検しておきましょう。また、住宅の耐震性に不安がある場合は耐震診断*を行い、補強等を実施しましょう。



屋内の地震対策

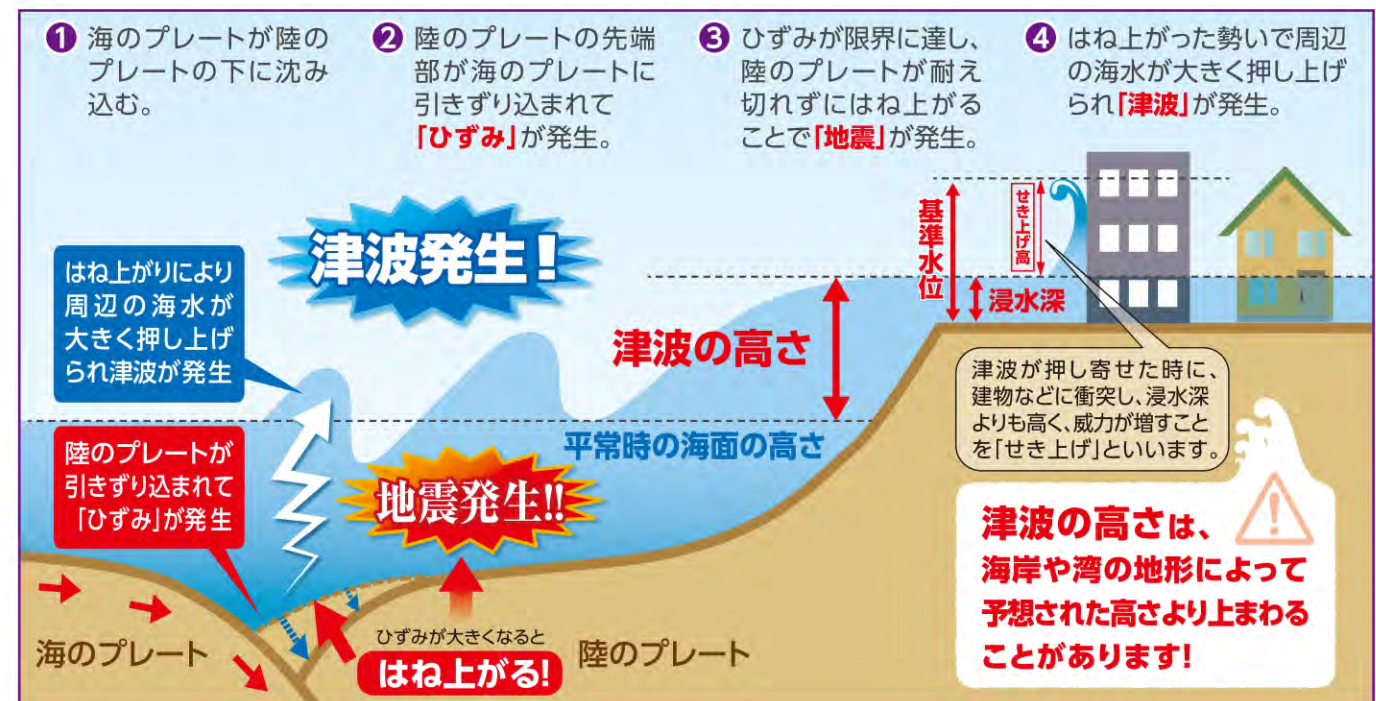
地震時のケガの原因は家具などの転倒によるものも多く、室内の散乱は逃げ遅れてしまう原因にもつながります。家具の配置や固定具合を見直し、安全対策に努めましょう。



津波発生のおこり

津波は海底で発生した地震に伴う海底の隆起・沈降、地すべり、海底での地崩れ、海底火山の噴火などによって引き起こされます。海底で起きた現象によって、海水が陸地に押し寄せる現象を「津波」といいます。

地震から津波発生までの流れ



津波警報・注意報

気象庁では、地震発生から約3分を目標に津波警報(大津波・津波)または津波注意報を発表します。津波から命を守るために、強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたり、揺れがなくても津波情報を見聞きしたらすぐに避難しましょう。



津波警報・注意報の種類と、とるべき行動

	発表される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報(特別警報)	10m超(10m<予想高さ) 10m(5m<予想高さ≤10m) 5m(3m<予想高さ≤5m)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
津波警報	3m(1m<予想高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
津波注意報	1m(20cm<予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。

地震・津波災害時の避難行動①

身を守るために「とるべき行動」



危険なら…

急いで避難!!

避難はできるだけ徒歩で
持ち物は少なく!!

- ▶ 動きやすい服、ヘルメット、底の厚い靴。
- ▶ 家族への連絡メモを残す。
- ▶ ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを落とす。

わが家の防災メモ
を確認しましょう!

避難は原則徒歩ですが、避難所までの距離が相当ある場合や、要配慮者の円滑な避難が非常に困難な場合は自動車等を使用しましょう。

地震の震度(気象庁震度階級)



北海道南西沖地震

～過去の災害を教訓に地震・津波に備えましょう～



1993年(平成5年)7月12日 22時17分、北海道南西沖34kmの海底を震源とする地震が発生しました。地震の規模はマグニチュード7.8、震度5を記録しています。この地震により大津波が発生し、せたな町では地震発生約6分後に4~8mの高さの津波が襲来、日本海に面した地域に甚大な被害と犠牲者を出しました。また、大津波以外にも地震の揺れにより、家屋の倒壊、農地の地割れ、道路の陥没など町内全域の広大な範囲で被害が発生しました。

地震・津波災害時の避難行動②

津波から命を守るための注意点

強い地震の揺れや
弱くてもゆっくりとした
長い揺れを感じた

大津波警報(特別警報)、
津波警報が発表された
(揺れを感じない場合を含む)

津波注意報が発表された
(揺れを感じない場合を含む)

すぐに避難する

- 沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や高い安全な場所へ避難する。
- 「ここなら安心」と思わずに、より高い場所を目指して避難する。
- 海岸付近など津波の危険地域にいる人は直ちに避難する。



海岸から離れる

- 海の中にいる人は、直ちに海から上がり、海岸から離れる。
- 沿岸部など津波の危険地域にいる人は、いつでも避難できるように準備する。



- 津波は繰り返し襲ってくるので、注意報や警報が解除されるまでは戻らない(海岸や川に近づかない)。



- 速報メールやテレビ、ラジオなどで正しい情報を入手する。

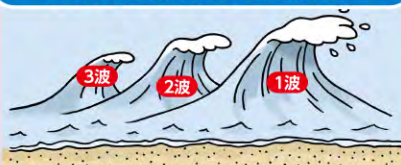


津波フラッグは避難の合図

- 「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されたことをお知らせする旗です。
- 海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。



津波は繰り返し来る!



津波は2波、3波と繰り返し襲ってきます。「注意報」や「警報」が解除されるまでは避難していきましょう。

引き潮がなくても注意!



津波の前に必ず引き潮があるとは限りません。地震の起こり方や地形によっては引き潮が起こらない場合もあります。

津波のスピードは速い!



「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあり、津波の速度は海岸付近でも時速36km(秒速10m)程度もあります。

満潮時は要注意!



満潮時は水位が高くなっているため、津波がより大きくなります。

津波の高さに注意!



海岸の地形などによって予想された津波の高さを超える津波が発生する場合があります。

弱い地震でも要注意!



せたな町 津波ハザードマップ 【目次】

凡 例	
	津波災害警戒区域
	国 道
	道 道

津波ハザードマップについて

この津波ハザードマップは、津波防災地域づくりに関する法律に基づき、令和4年1月に北海道が指定した津波災害警戒区域の範囲と基準水位を示しています。
なお、地震の発生状況によっては、予測を超える津波の発生や警戒区域外であっても津波による災害が発生する可能性もありますので、十分注意してください。

津波災害警戒区域と基準水位について

「津波災害警戒区域」は、最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずる恐れがある区域で、津波による人的災害を防止するため、津波から逃げる事ができるように、警戒避難体制を特に整備すべき区域として北海道が指定する区域です。警戒区域内において、建築物の建築やそれに伴う開発行為が制限されることはありません。

「基準水位」は、津波浸水想定の高さに津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さ(せき上げ高)を加えた水位です。なお、基準水位は津波浸水想定における浸水深と同様、地盤面からの高さで表示しています。

津波影響開始時間・津波到達時間とは

津波影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。

津波第一波到達時間は、海岸線において第一波の最大到達高が生じるまでの時間です。

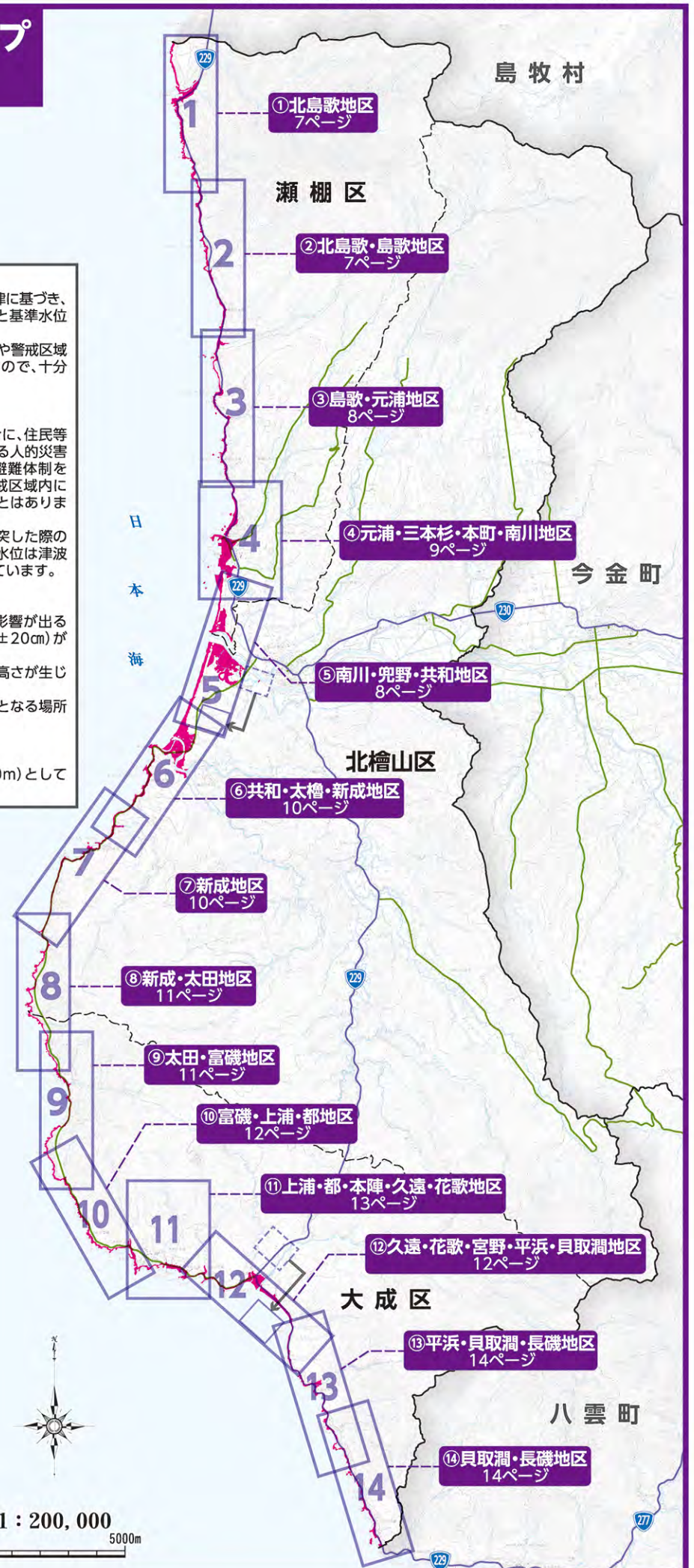
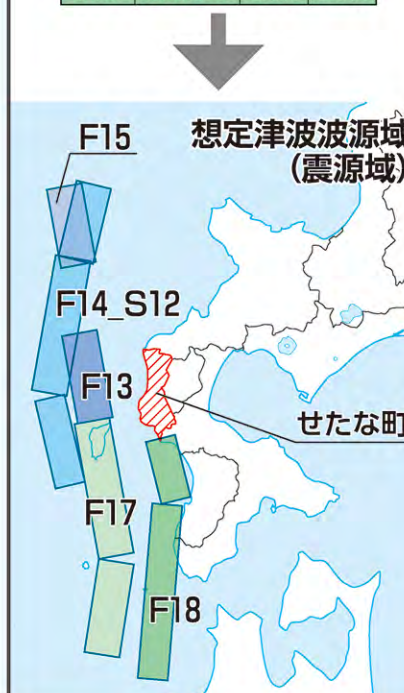
なお、最大波は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

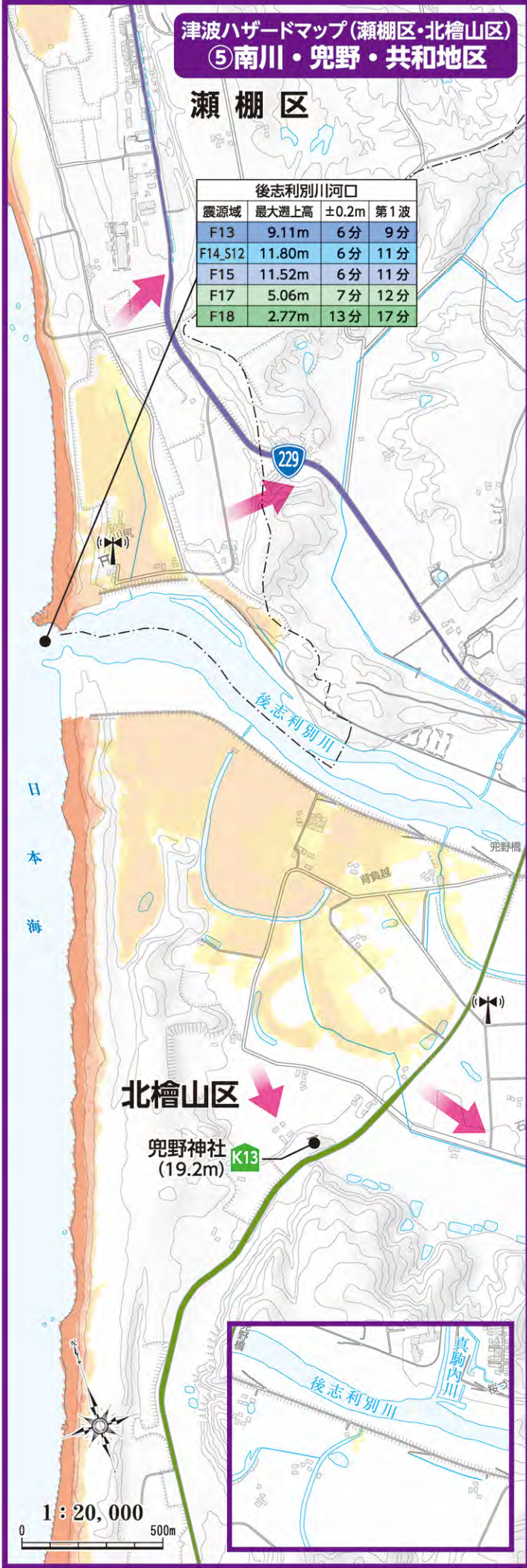
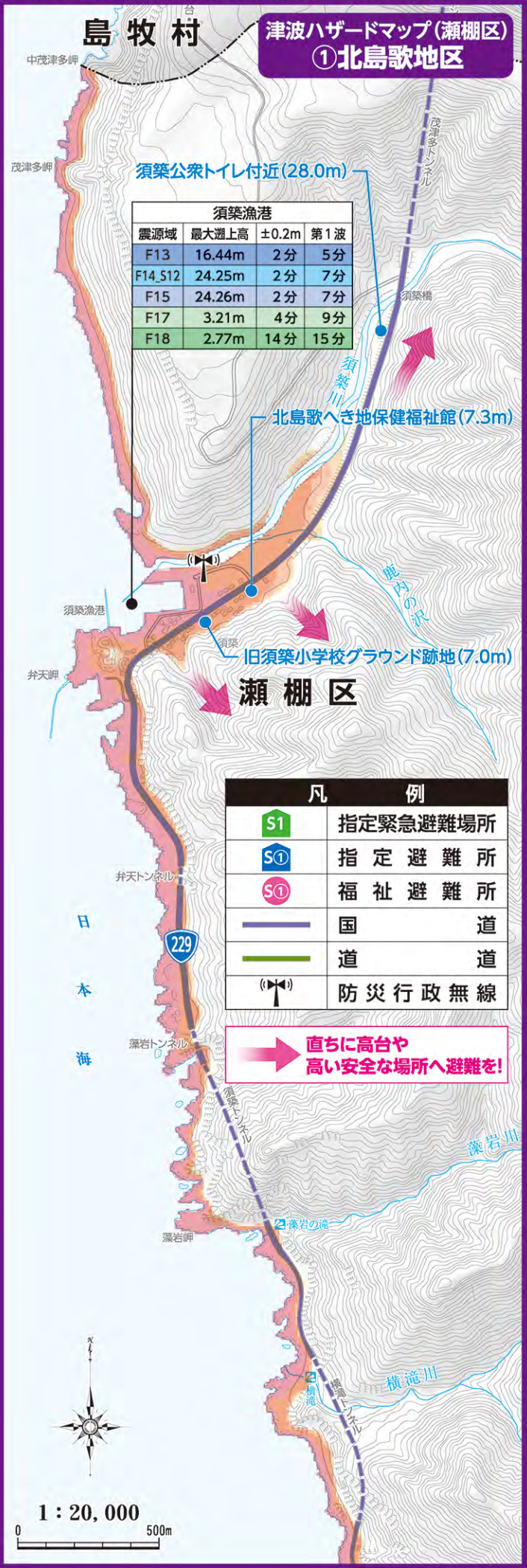
標高値(〇〇.〇m)について

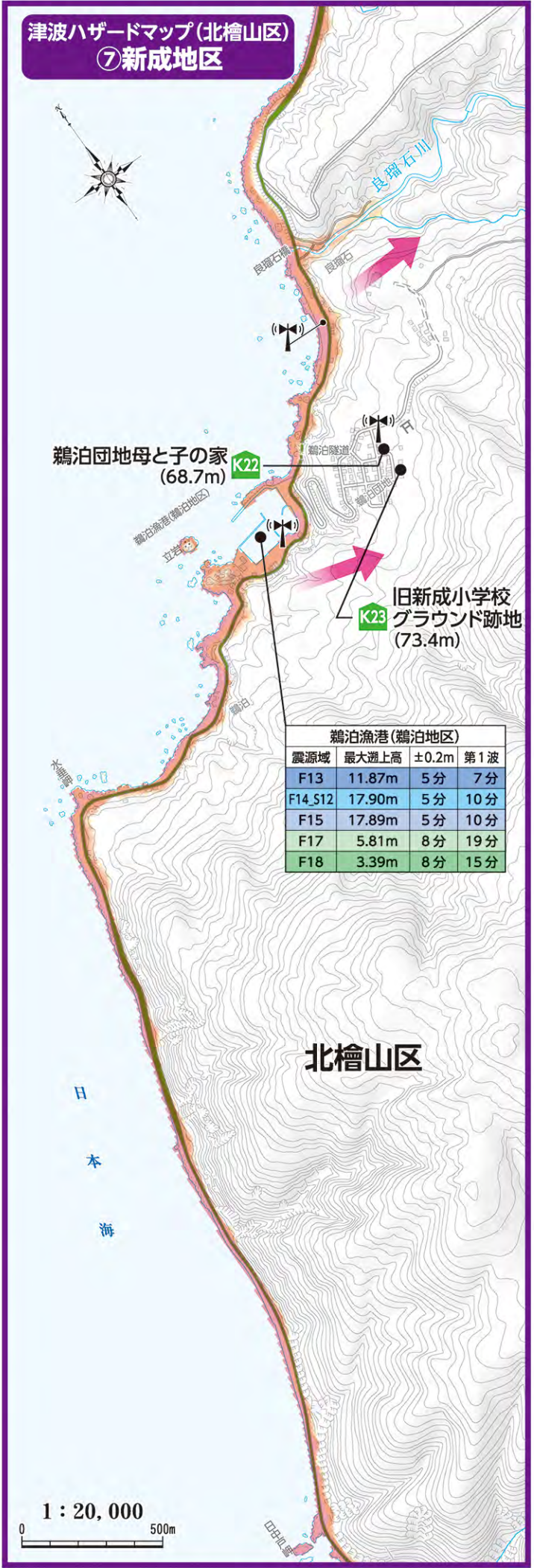
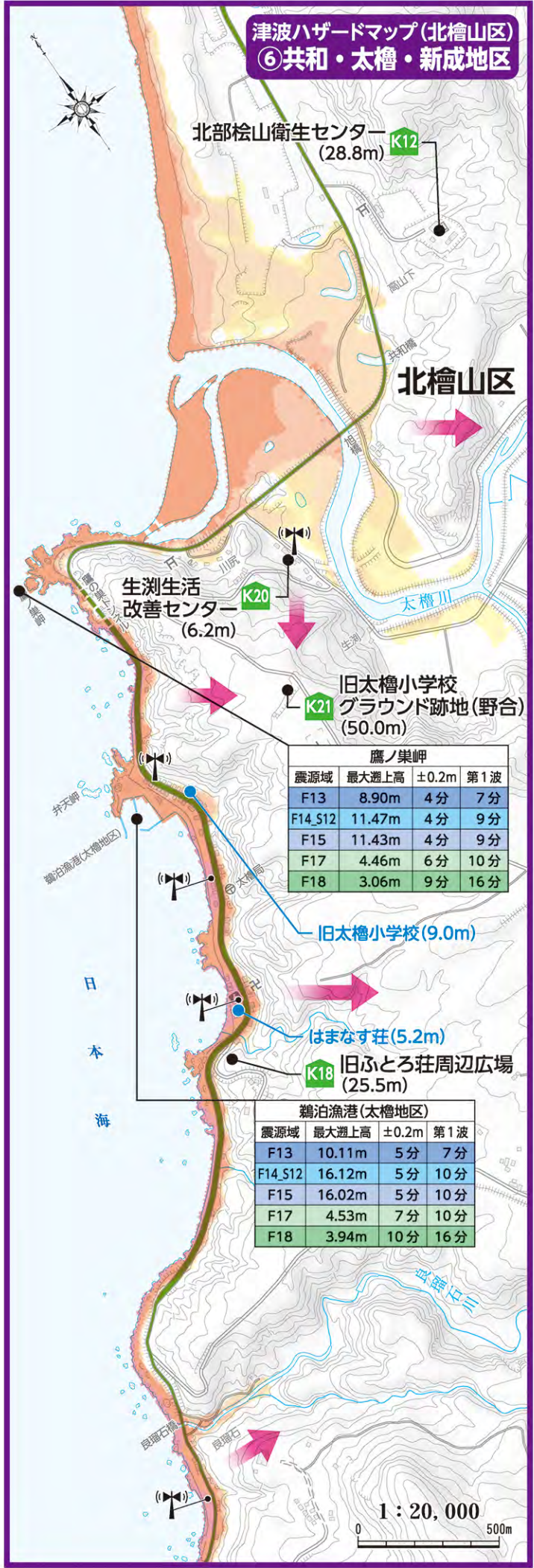
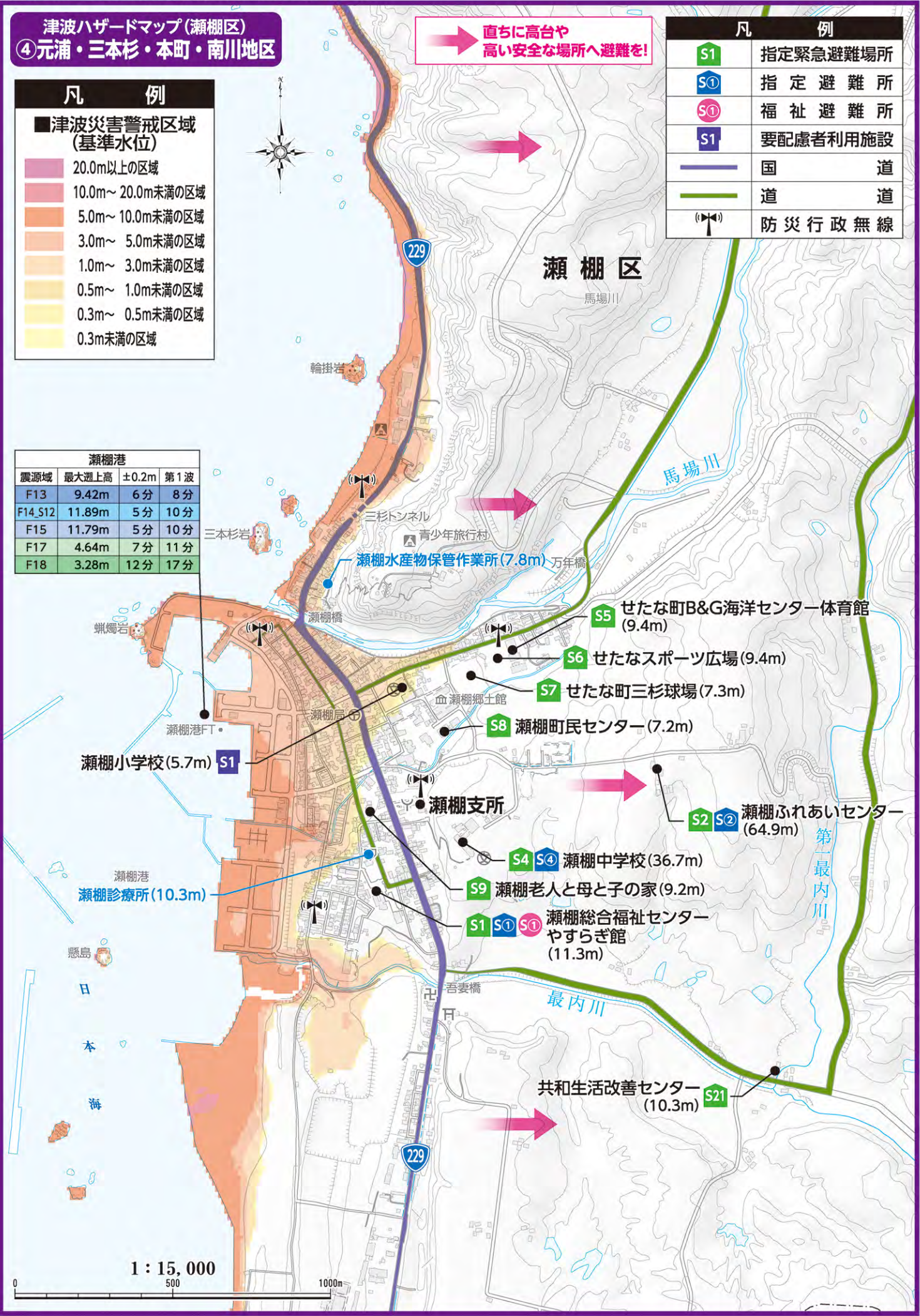
土地の高さを「標高」で表し、東京湾平均海面を基準(標高0m)として測っています。

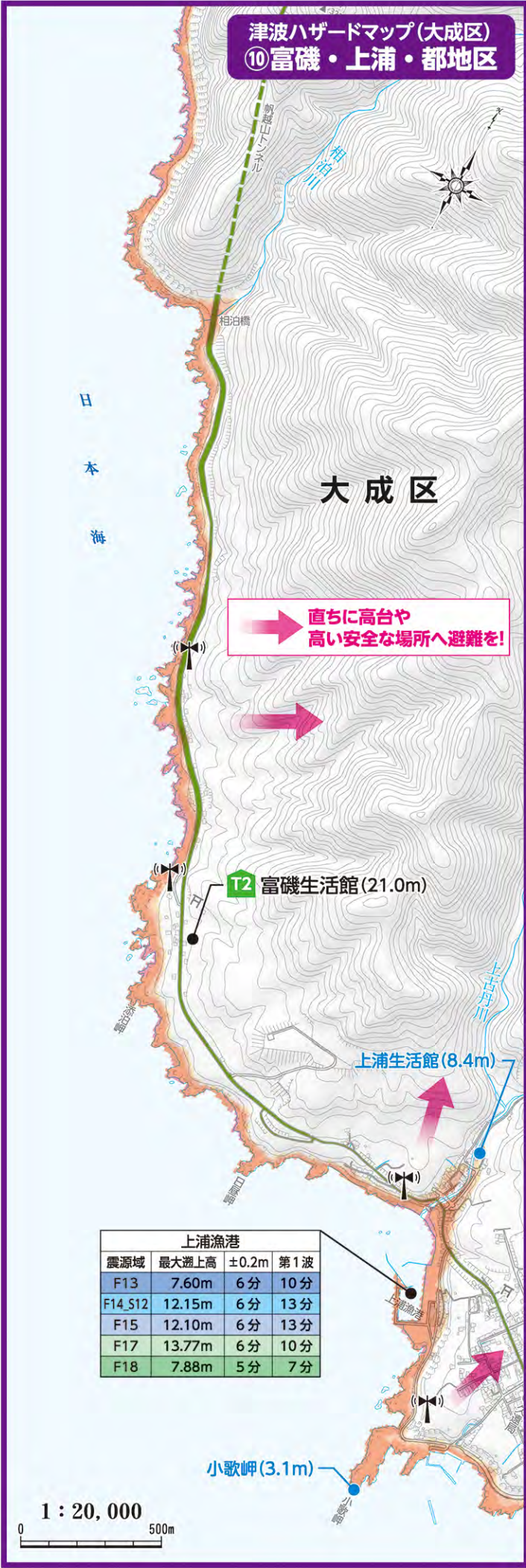
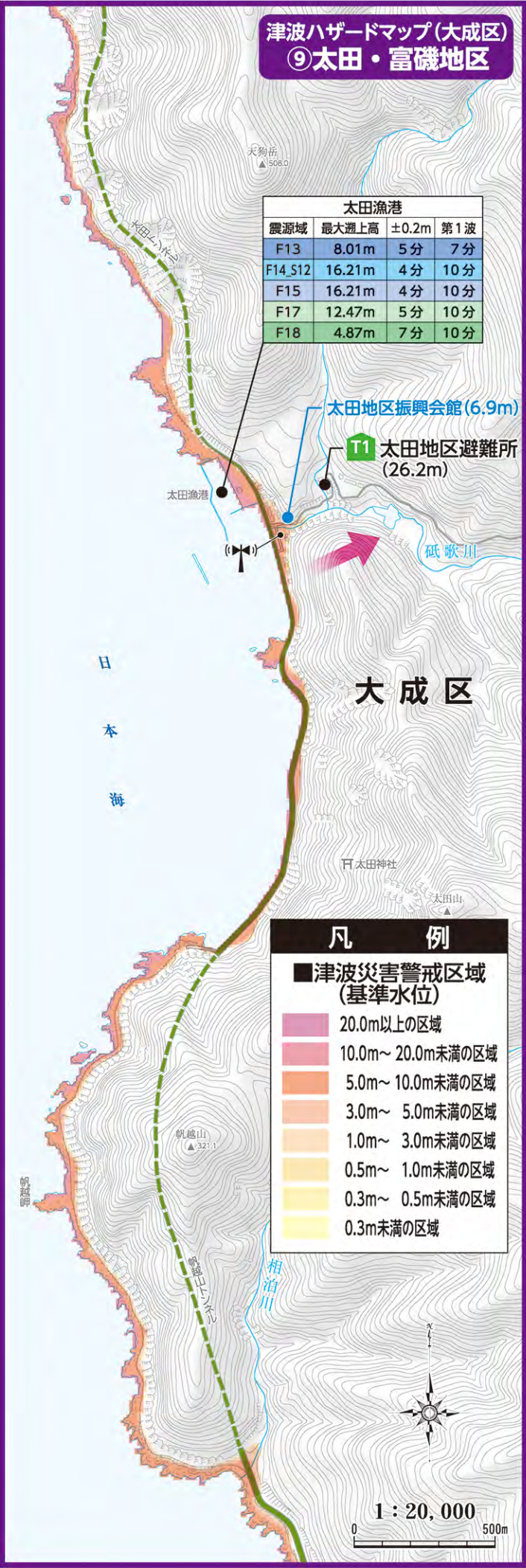
●代表地点周辺で予測される最大遡上高・津波影響開始時間

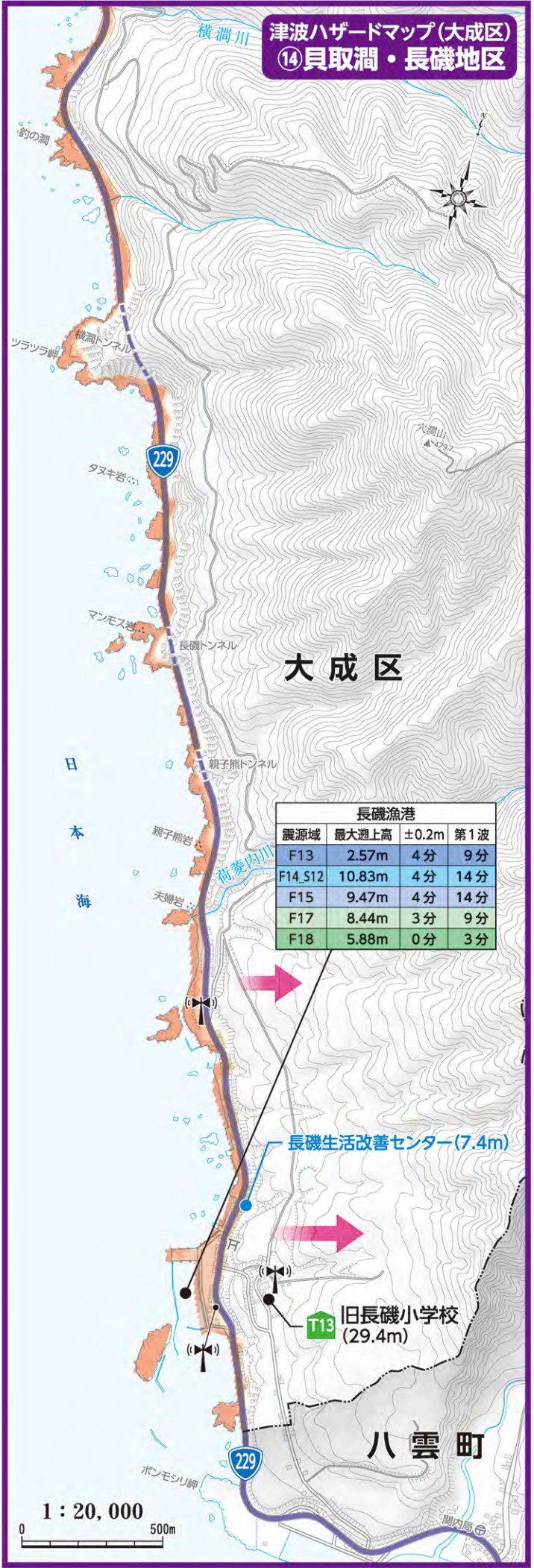
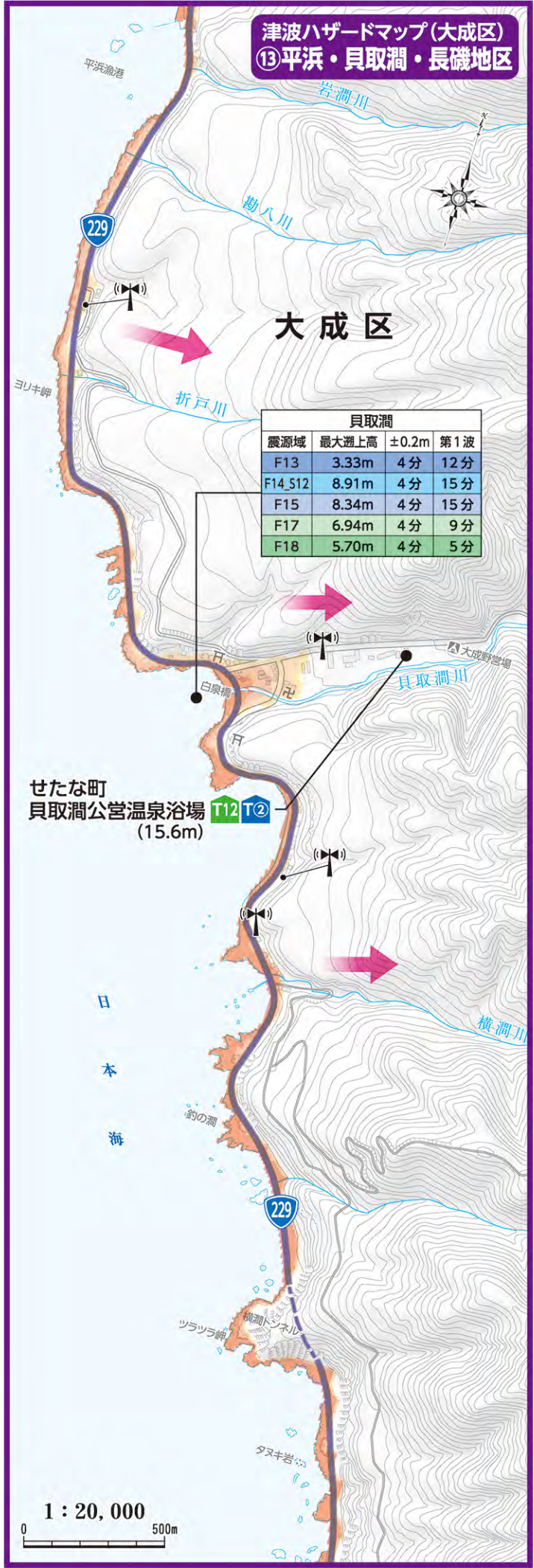
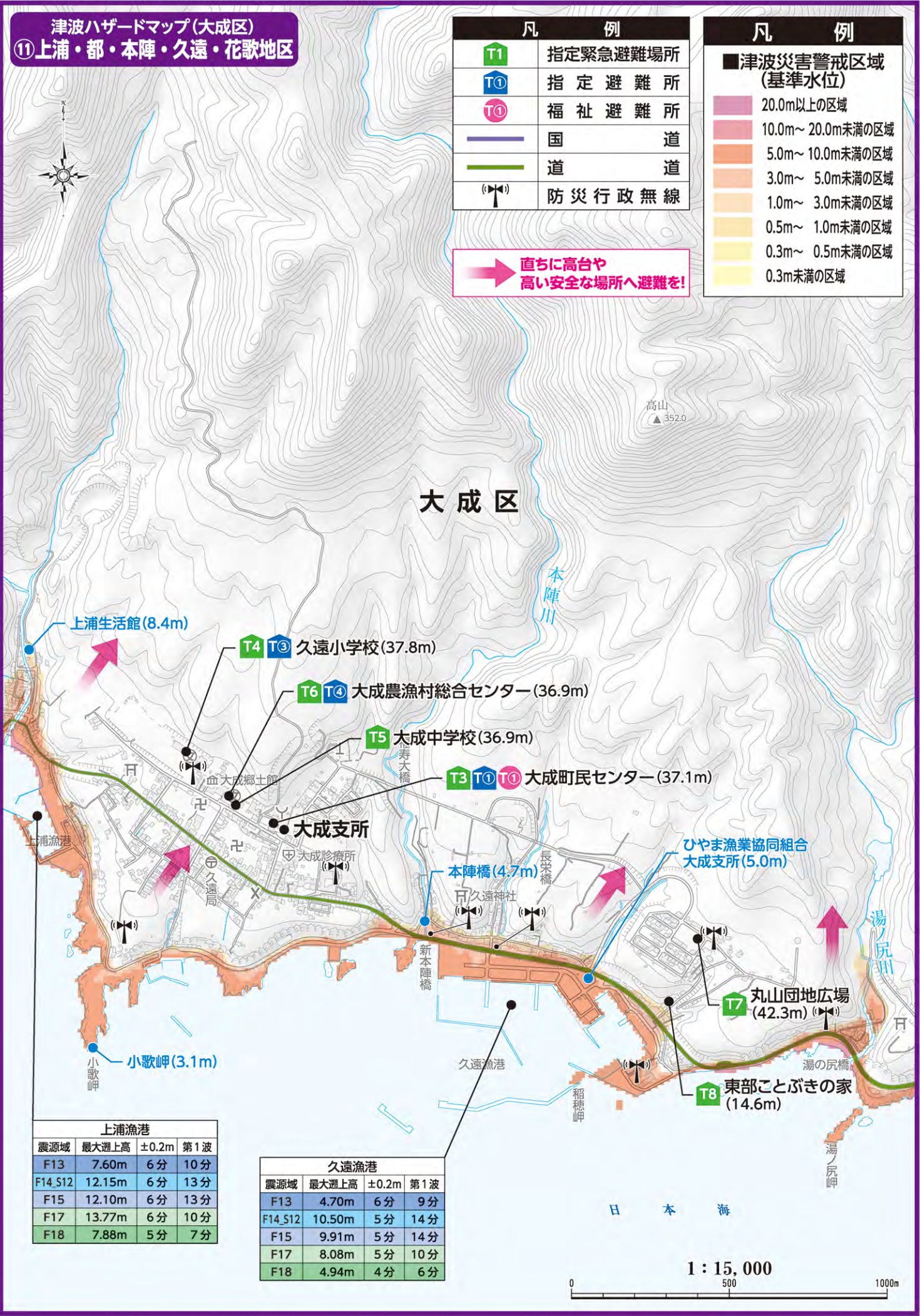
地点名			
震源域	最大遡上高	±0.2m	第1波
F13	0.00m	00分	00分
F14_S12	0.00m	00分	00分
F15	0.00m	00分	00分
F17	0.00m	00分	00分
F18	0.00m	00分	00分











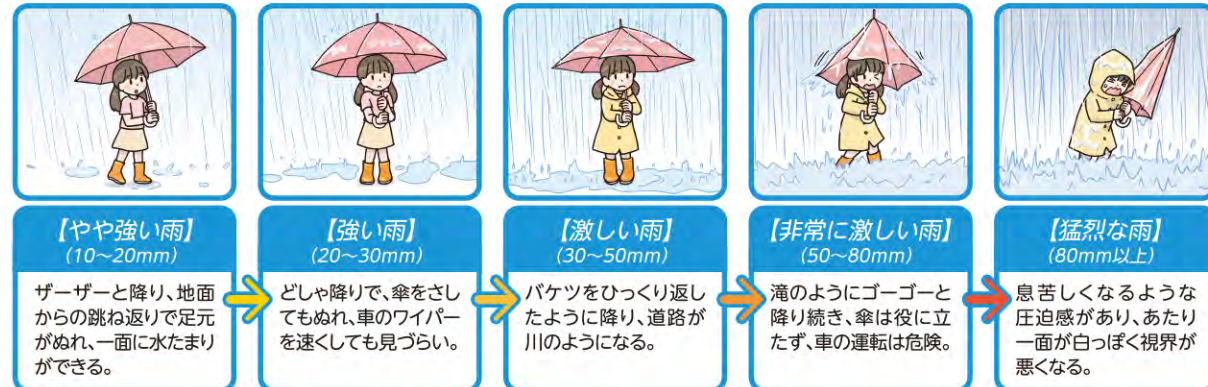
風水害への備え



初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で大雨、洪水、暴風、高潮による自然災害が発生しやすくなります。台風や豪雨はある程度進路や規模など予測できるため、普段から気象情報に注意しましょう。

雨や風の危険度

一時間雨量の目安



風と被害の目安



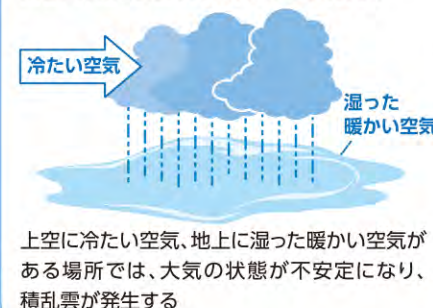
※風速は10分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約1.5倍~3倍以上になることがあります。

異常気象が起きるワケ

日本の平均気温は上昇し、大雨の年間発生回数は増えています。40度に迫る猛暑や記録的な大雨などの異常気象は、温室効果ガス排出の増加に伴う地球温暖化がその一因だと考えられています。平均気温が上がると、海や地面から蒸発する水分が増え、空気中に含まれる水蒸気量が多くなります。それに伴い、雨量も増加して、大雨の発生につながるからです。

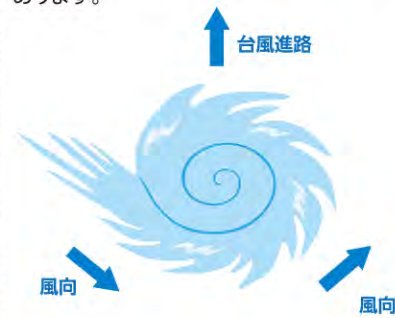
前線の停滞

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞します。寒気と暖気がぶつかる前線では積乱雲が列になってでき、線状降水帯が発生することもあります。その結果、数時間にわたって同じ場所にどまり、大雨をもたらします。



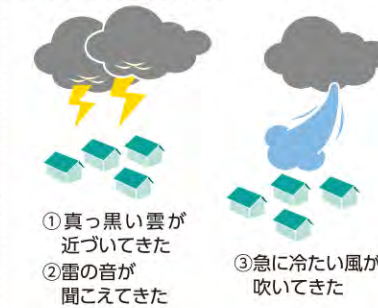
台風

台風の風は反時計回りの渦巻きで、中心より東側は強風が吹き荒れる「危険半円」と呼ばれます。台風が接近すると、東側では風が急に強くなるため、波が異常に高くなるおそれがあります。



集中豪雨

短時間で局地的に降る大雨のこと。小規模で突発的に起こるため、予測が難しいといわれます。集中豪雨は大気の状態が不安定な時、積乱雲が発達して起こります。積乱雲が近づくサインは下記のとおり。



河川の氾濫への警戒



気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されるほどの雨が降ると、浸水被害が発生します。水の力はとても強く、浸水被害が起こった場合、人や車は簡単に押し流されてしまいます。大雨が予想される時は、水辺に近づかないようにしましょう。

水位の氾濫危険レベル



「特別警報」に注意

警報の発表基準をはるかに超える豪雨などが予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合には、「特別警報」が発令されます。ただちに命を守る適切な行動をとってください。

水防団待機水位

(指定水位)
大雨などにより、この水位を超えると水防関係機関が水防活動の準備に入ります。

氾濫注意水位

(警戒水位)
洪水注意報の基準となり、災害のおそれがある水位です。この水位を超えると水防関係機関が活動します。

避難判断水位

「高齢者等避難」の発令基準となる水位です。

避難に時間を要する人とその支援者は避難を開始し、その他の人は避難の準備を整えましょう。避難の際は危険な場所には通らないようにしましょう。

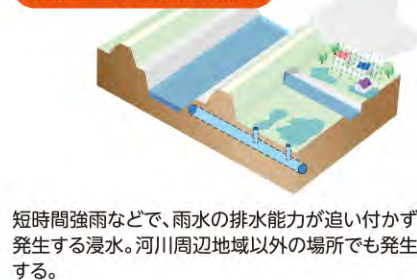
氾濫危険水位

(特別警戒水位)
「避難指示」の発令基準となり、家屋浸水等の被害を生じる氾濫のおそれがある水位です。

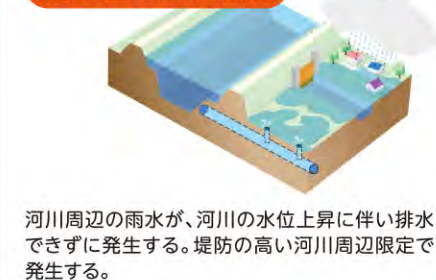
速やかに避難所へ避難しましょう。外出することによって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

氾濫の種類

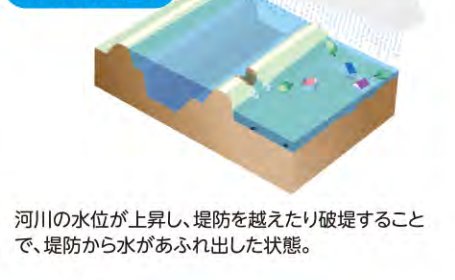
氾濫型の内水氾濫



湛水型の内水氾濫



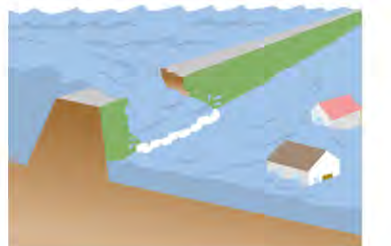
外水氾濫



家屋倒壊等氾濫想定区域

氾濫流

一般的な構造の木造家屋について、水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生するおそれのある区域を推算して設定しています。この区域は、早期の立ち退き避難が必要です。



土砂災害への警戒



一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や豪雨が続いた時に発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

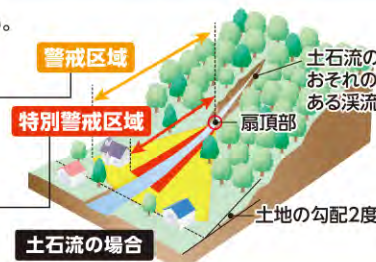
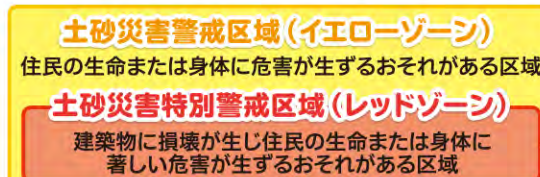
こんな「前ぶれ現象」に注意！



※地すべりの予測は技術的に困難であり、土砂災害警戒情報の発表対象となっていないので注意してください。

土砂災害警戒区域等

土砂災害防止法に基づき指定された「土砂災害のおそれがある区域」で、ハザードマップ内で表示されています。



逃げ方を覚えましょう



土石流
土石流は速度が速く、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



がけ崩れ
がけ崩れは一瞬で起こるため、早期避難の判断が重要です。緊急時には、がけの高さの2倍以上の距離に逃げたり、室内の安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。

身を守るためには

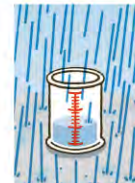
土砂災害警戒情報に注意する

「土砂災害警戒情報」とは、大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、町長が避難指示等を発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう、北海道と気象庁が共同で発表する防災情報です。早期避難の判断に役立ててください。



雨に注意する

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから80ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。



避難警戒レベルと避難経路



災害などで発令される避難警戒レベル情報

災害時でとるべき行動を、5段階の「警戒レベル」でお知らせします。



※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしもレベル1から順に発令されるとは限りません。

警戒レベル5 緊急安全確保が発令された場合

これまでに経験したことのないような、危険が差し迫った異常な状況にあります。ただちに「**命を守る行動**」をとってください!

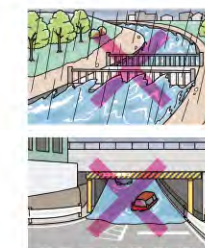
あなたの避難経路は?

近年の水害では、避難途中で被災するケースが多く、避難場所までの安全な経路の選択が非常に重要です。下記に留意して、マップ上に避難経路を想定し記入してみましょう。また、実際に避難経路を歩いてみて、危険がないか事前に確認しておくことも、重要になります。

避難経路の注意点

危険箇所を避ける!

- ◆ 河川や用水路のそば、土砂災害の危険のある場所
- ◆ 日ごろから浸水する場所



避難は原則徒歩で!!

車での避難は緊急車両の通行の妨げや、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなります。ただし、避難情報が出る前の早期の避難は、車の使用も有効です。



事前の経路確認と早めの避難!

実際に避難経路を歩き、安全で避難しやすい経路と所要時間を確認しましょう。実際に避難する際は、できるだけ浸水が始まる前に余裕をもって避難しましょう。



歩ける深さに注意!

浸水した場合、歩ける深さの目安は、ひざ下くらいまでです。水深が腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。



避難への心がまえ



普段から避難行動への心がまえをしておくことが大事です。家族全員で下記のフローチャートを参考に、災害時の避難行動を考えてみましょう。

避難行動判定フローチャート

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取り組みましょう!!

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。



家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

●ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。ただし、着色されていないところでも災害が起こる可能性がありますので注意しましょう。

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、要注意です。せたな町からの避難情報を確認し、必要に応じて避難してください。



はい



災害の危険があるので、原則として※、安全な地域に避難（立ち退き避難）が必要です。

例外

※地図上で浸水の危険があっても
①洪水等により家屋の倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
②浸水する深さよりも高いところにいる。
③浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。
以上の全ての条件を満たす場合は自宅に留まり屋内安全確保（在宅避難）をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

① 警戒レベル3
「高齢者等避難」

の発令を目安に（不安な場合は早めに）安全な場所にある親戚や知人の家に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう。）

② 警戒レベル3
「高齢者等避難」

の発令を目安に（不安な場合は早めに）、せたな町が指定する避難場所に避難しましょう。（事前に避難場所を確認しておきましょう。）

③ 警戒レベル4
「避難指示」

の発令を目安に（不安な場合はレベル3で）、安全な場所にある親戚や知人の家に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう。）

④ 警戒レベル4
「避難指示」

の発令を目安に（不安な場合はレベル3で）、せたな町が指定する避難場所に避難しましょう。（事前に避難場所を確認しておきましょう。）

マイ・タイムライン（防災行動計画）



自分自身がとる防災行動を時系列に整理したものを「マイ・タイムライン」と呼んでいます。急な判断が迫られる災害に対して、自分自身の行動、また判断のサポートツールとして役立ちます。事前に家族で行動を話し合い、記入しておきましょう。

ハザードマップでチェック…自宅の危険性は？

洪水

☐ あり（洪水浸水想定区域） []川
自宅に想定される浸水の深さは？
☐ 0.5m未満 ☐ 0.5~3m
☐ 3~5m ☐ 5m以上
☐ あり（建物の倒壊が想定される区域内） ☐ なし

土砂災害

☐ あり（土砂災害警戒区域等内）
☐ なし

避難行動のチェック…避難する場所は？

避難先候補
①

移動時間
分

避難先候補
②

移動時間
分

家庭の状況のチェック…避難するタイミングは？

避難に支援が必要な人（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など）が
☐ いる レベル3 高齢者等避難 の発令で避難！
☐ いない レベル4 避難指示 の発令で避難！

ペットは？
☐ いる ☐ いない

その他の避難のタイミング（あれば記入）

警戒レベル	行政からの情報等	我が家の行動計画
大雨・台風の1~3日前 レベル1	大雨や台風の予報 早期注意情報	☐ 最新の天気予報をチェック ☐ 家の周りの風雨で飛ばされそうなものを固定 ☐ 安全な場所の親戚や知人の家へ避難が可能か確認 ☐ 家族の今後の予定や居場所を確認 ☐ 非常持ち出し品（備蓄品など）を確認 ☐ 必要な物の買い出し
注意報 レベル2	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報	☐ 最新の気象情報をチェック ☐ 携帯電話（スマホ）・モバイルバッテリーを充電 ☐ 避難の準備（非常持ち出し品などの準備） ☐ 避難する場所、避難経路を再確認 ☐ 避難しやすい服装に着替える
警戒・高齢者等は避難 レベル3	高齢者等避難 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報	☐ 高齢者等避難 発令で避難場所に避難開始 ☐ 独自のタイミングで避難（ ） ☐ テレビやインターネット、携帯電話（スマホ）で避難所の開設状況や雨量・水位などを確認 ☐ ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす ☐ 非常持ち出し品を玄関に置く
全員避難 レベル4	避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報 高潮特別警報	☐ 避難指示 発令で避難場所に避難開始 ☐ 携帯電話（スマホ）などで最新の状況を確認
災害発生 レベル5	緊急安全確保 大雨特別警報 氾濫発生情報	命の危険 直ちに安全確保！ すでに災害が発生・切迫している状況！ 避難が遅れた場合は、自宅内や近くの建物など、被害を受けるおそれの少ない場所に移動！

※気象情報や警戒レベルが発表されるタイミングは状況により変わります。計画より早めに避難行動を起こすことも大切です。

家族構成や生活環境が変われば、マイ・タイムラインを見直しましょう！

せたな町 洪水土砂ハザードマップ

【目 次】

洪水浸水想定区域について

- 【後志利別川】
- (1)後志利別川水系後志利別川の洪水予報区間について、水防法の規定により定められた想定しうる最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2)この洪水浸水想定区域図は、指定時点の後志利別川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定しうる最大規模の降雨に伴う洪水により後志利別川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

水系名	河川名	想定降雨量
後志利別川水系	後志利別川	24時間総雨量 351mm

【後志利別川以外の対象河川】

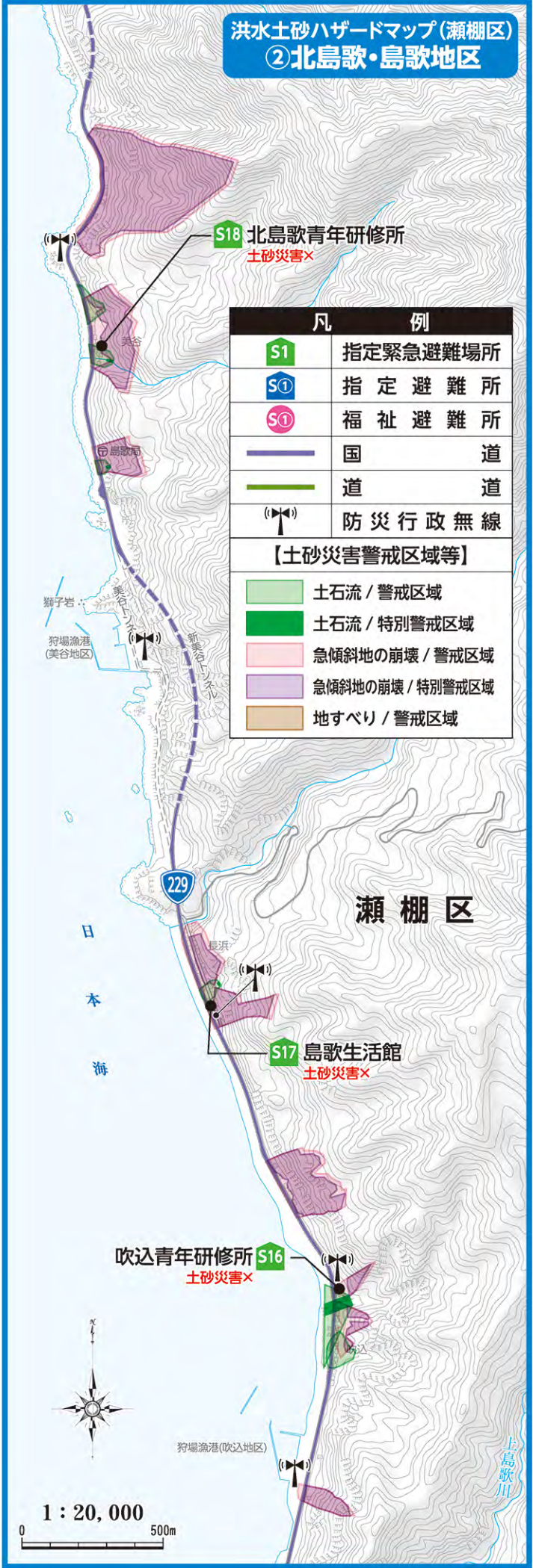
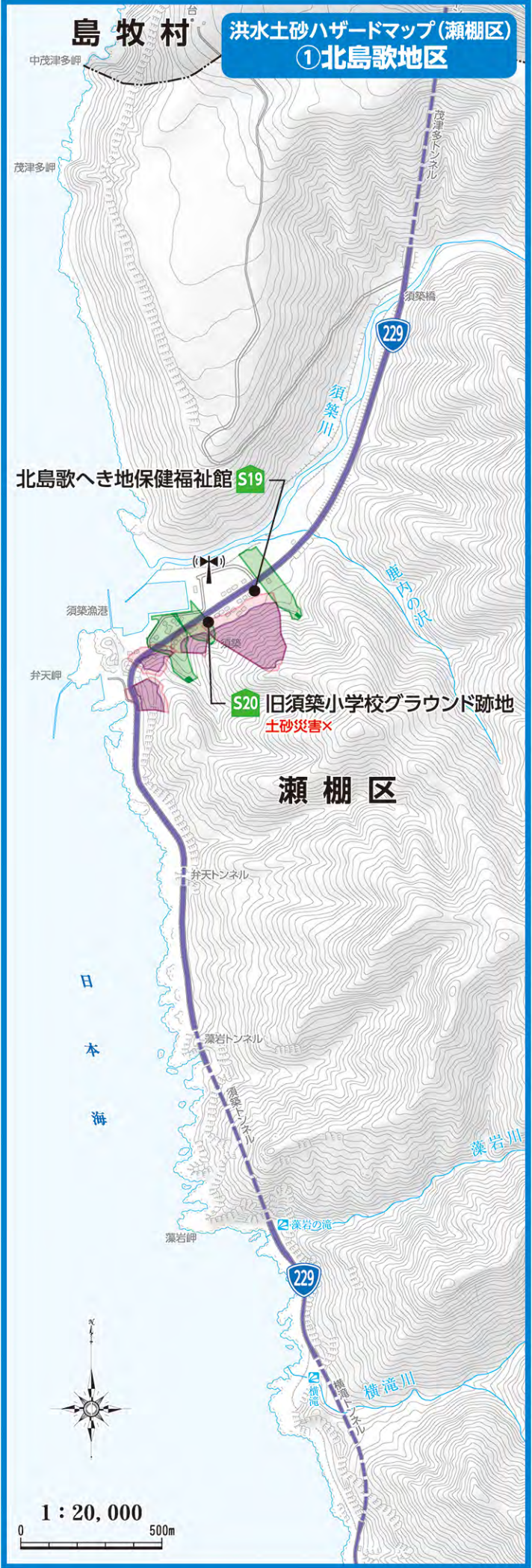
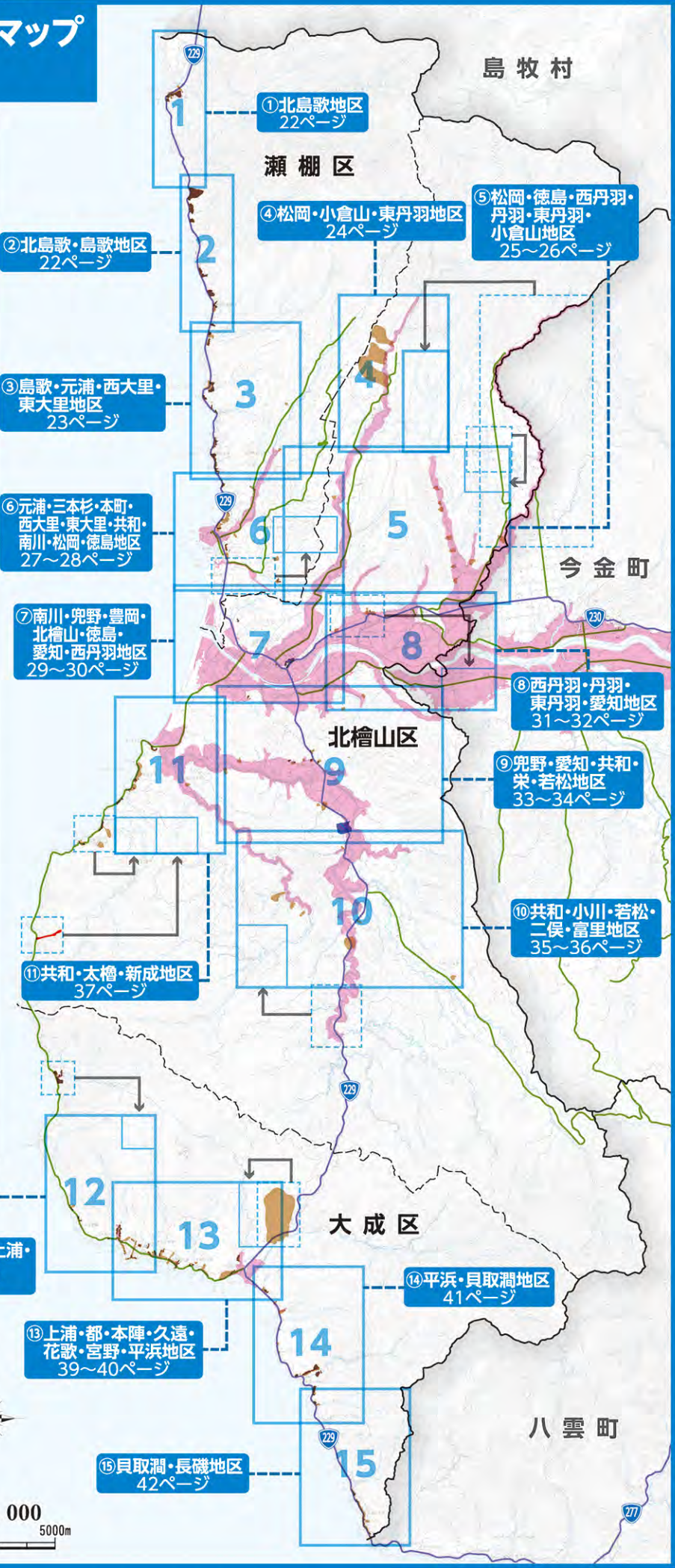
- (1)下表の各河川について水防法に基づき、想定しうる最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2)このシミュレーションの実施にあたっては、河川断面など詳細な調査をしていない簡便な手法であるため、浸水範囲や浸水深などは概略で示していることから、表示以上の浸水深になることや浸水が予想されていない箇所でも浸水が起こる可能性があります。

水系名	河川名	想定降雨量
後志利別川水系	真駒内川	2時間総雨量 165mm
	長淵川	1時間総雨量 130mm
	鯉川	1時間総雨量 136mm
	丸山川	1時間総雨量 130mm
	丸山川分水路	1時間総雨量 130mm
	冷水川	1時間総雨量 139mm
	下の沢川	1時間総雨量 130mm
	トンケ川	1時間総雨量 130mm
	不逢川	1時間総雨量 130mm
	ボン目名川	1時間総雨量 156mm
太櫓川水系	武沢川	1時間総雨量 130mm
	利別目名川	2時間総雨量 161mm
	太櫓川	4時間総雨量 188mm
	小川	2時間総雨量 175mm
	濁川	1時間総雨量 130mm
馬場川水系	上若松川	1時間総雨量 130mm
	二俣川	2時間総雨量 162mm
馬場川水系	馬場川	2時間総雨量 183mm
平田内川水系	平田内川	1時間総雨量 130mm
白別川水系	白別川	1時間総雨量 136mm
小川水系	小川	1時間総雨量 148mm
上古丹川水系	上古丹川	1時間総雨量 130mm
砥歌川水系	砥歌川	1時間総雨量 130mm

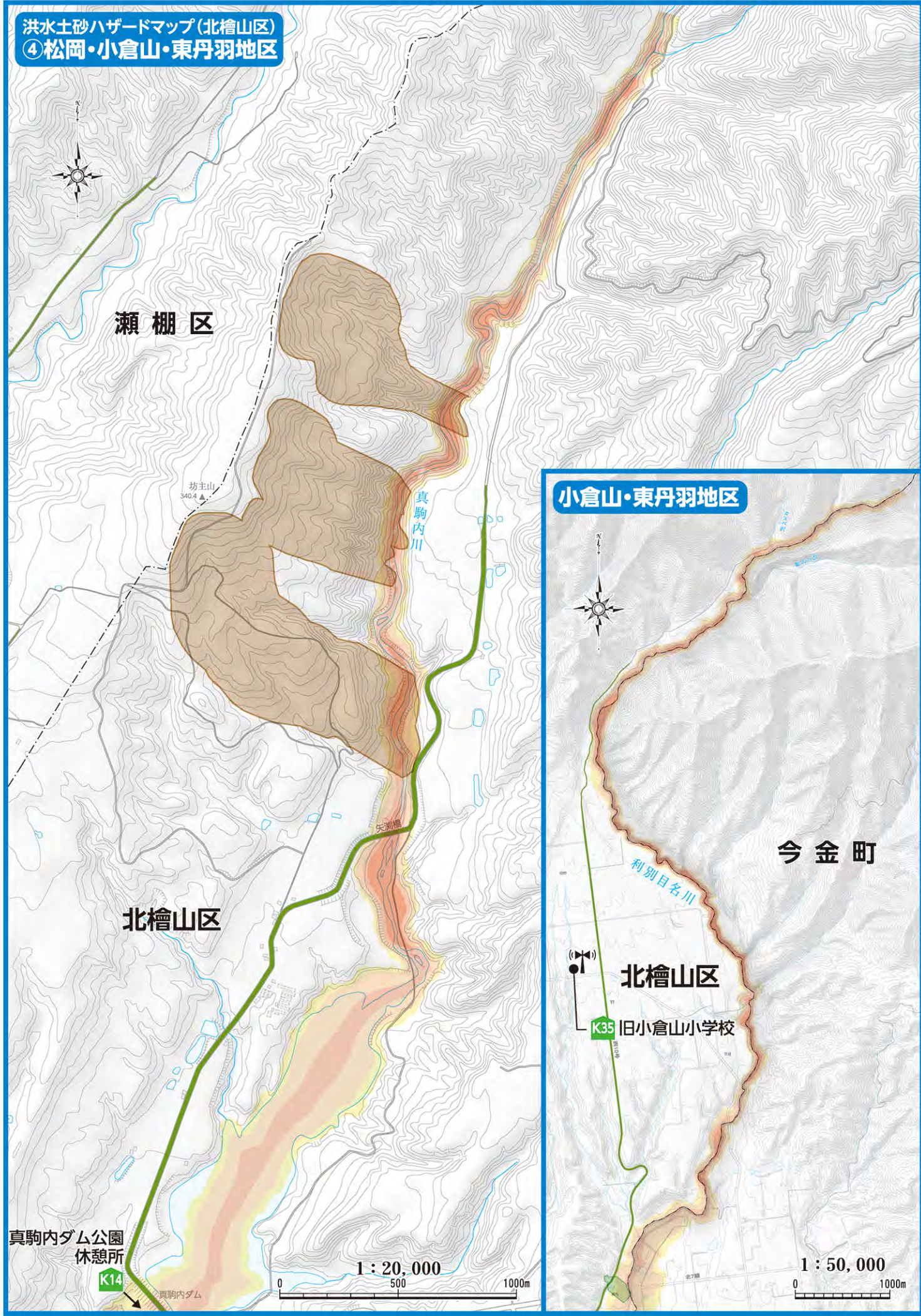
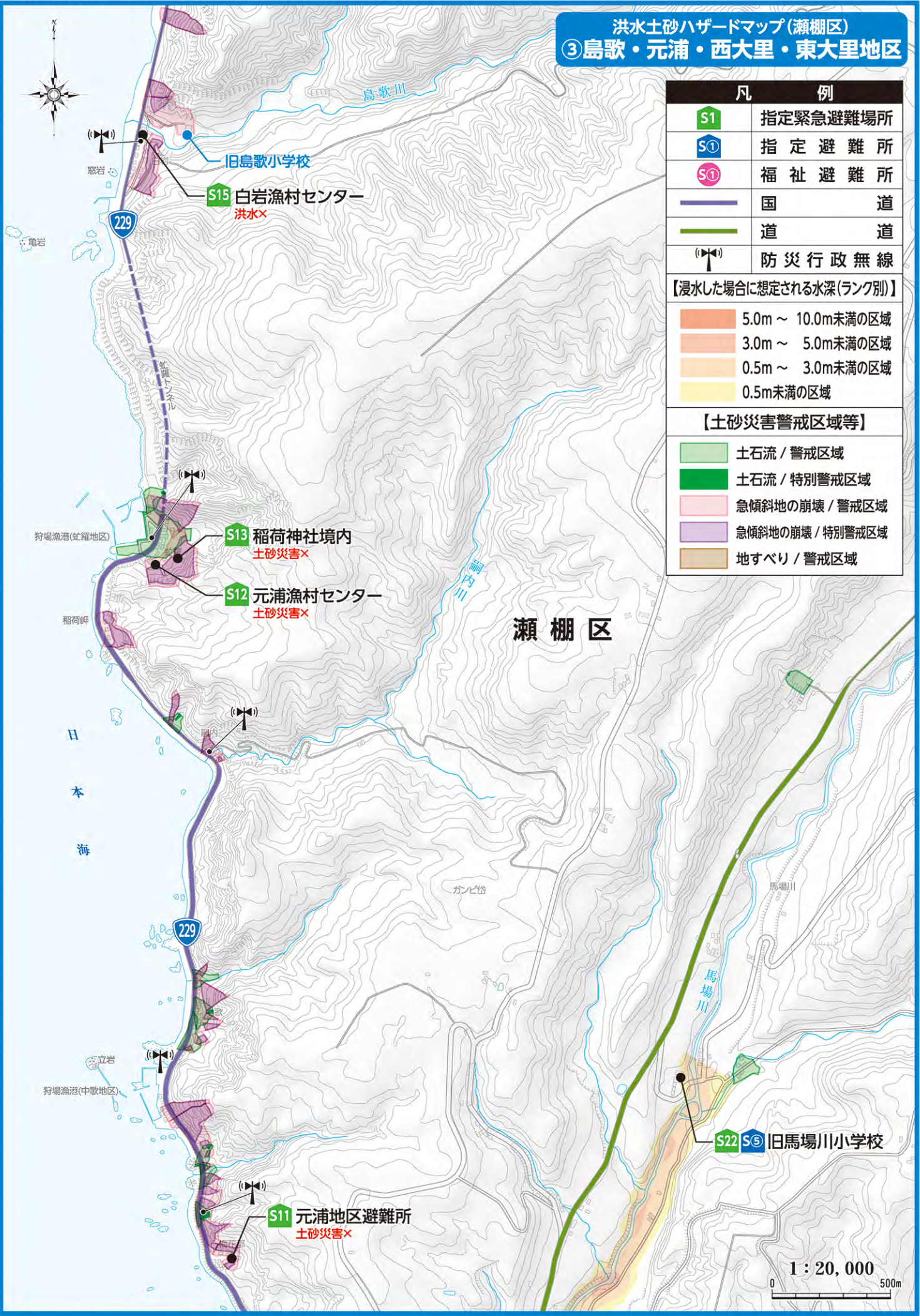
【洪水浸水想定区域の表示】

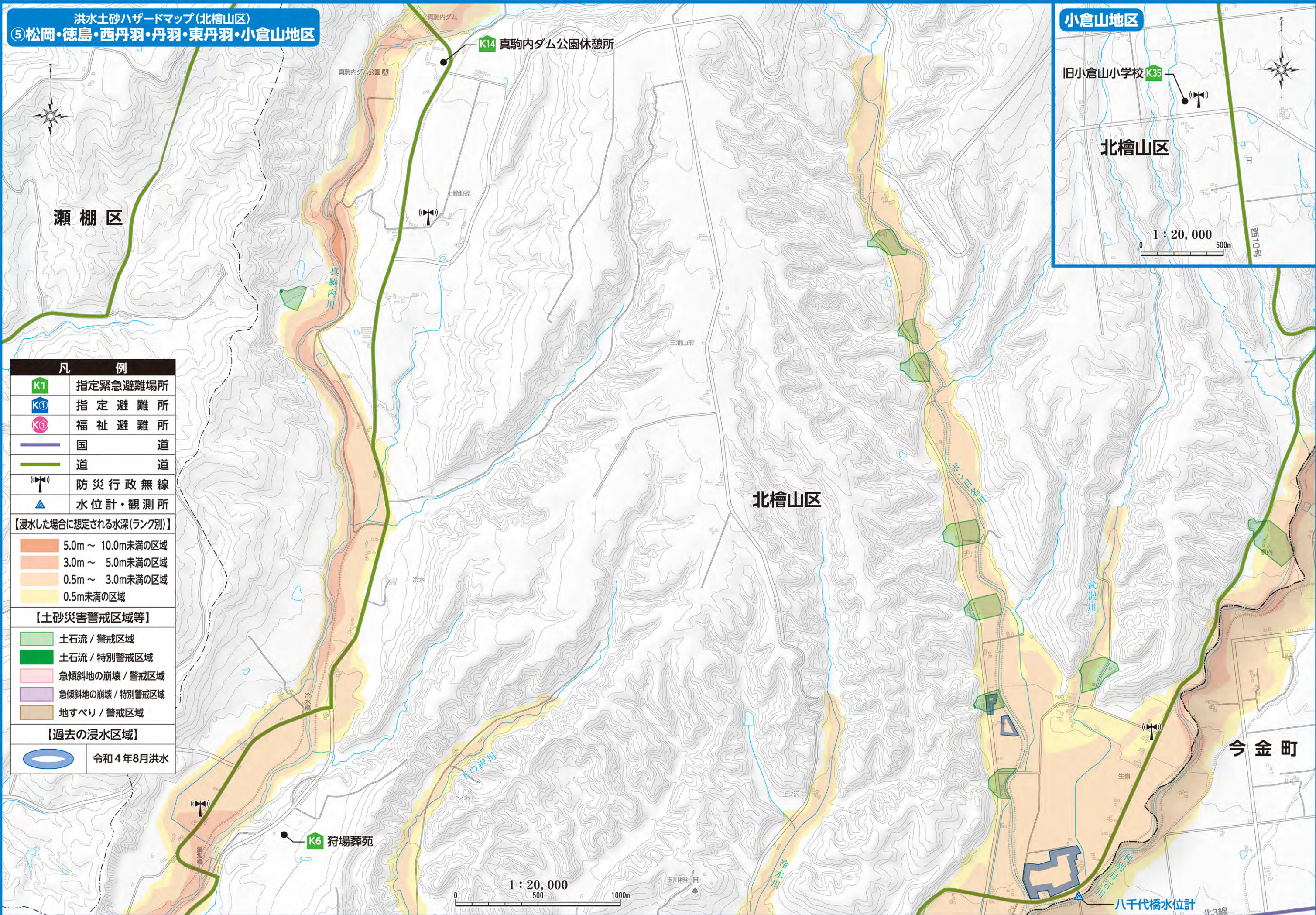
この洪水土砂ハザードマップでは、各河川ごとの洪水浸水想定区域を表示していますが、複数の河川の洪水浸水想定区域が重なる区域においては、浸水深の最大値を表示しています。

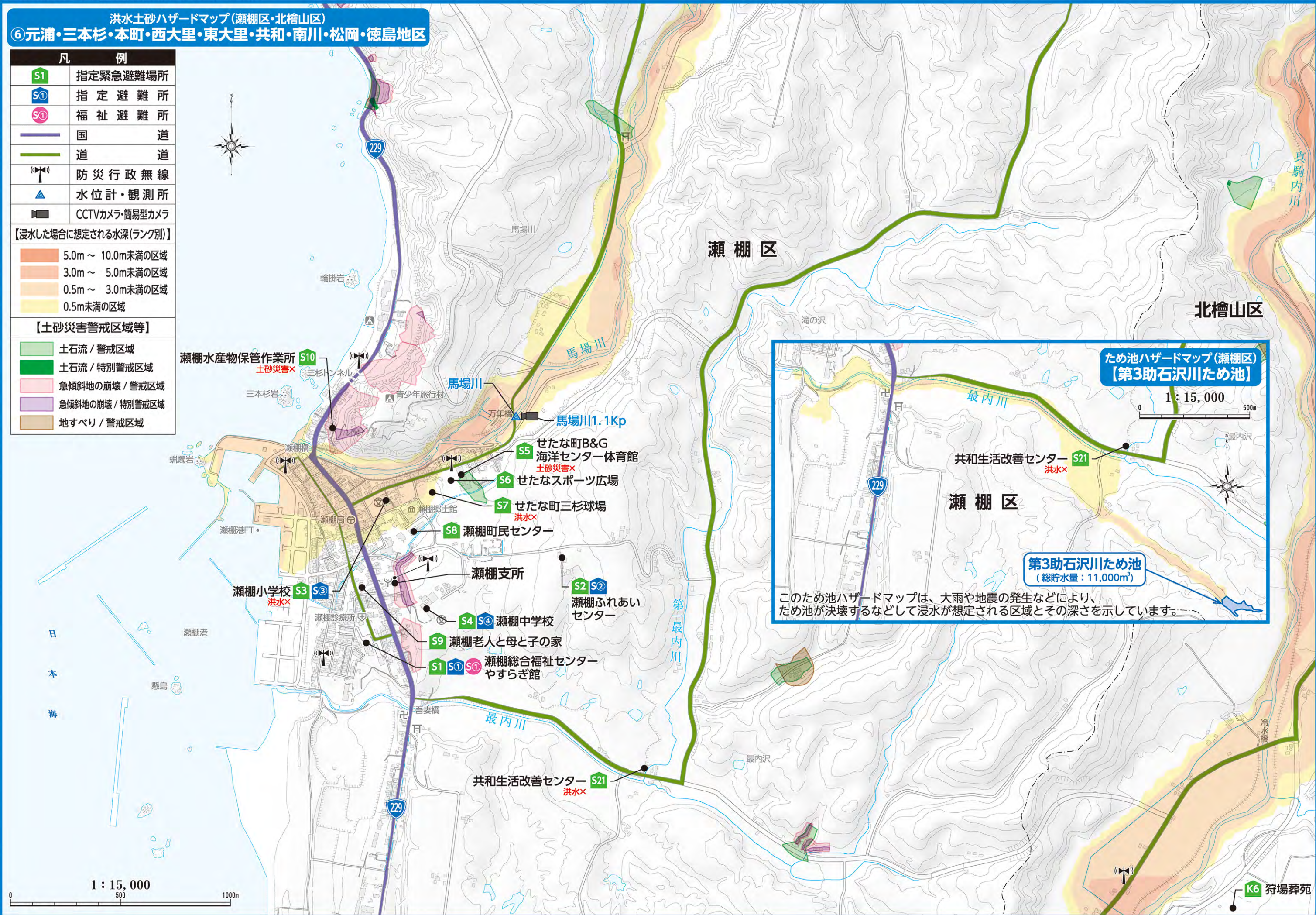
凡 例	
	洪水浸水想定区域
	土砂災害警戒区域 土石流 急傾斜地の崩壊 地すべり
	土砂災害特別警戒区域 土石流 急傾斜地の崩壊
	土砂災害警戒区域等(未指定) [急傾斜地の崩壊・地すべり]
	S38.9.16 日中戸土石流被災地
	国 道
	道 道

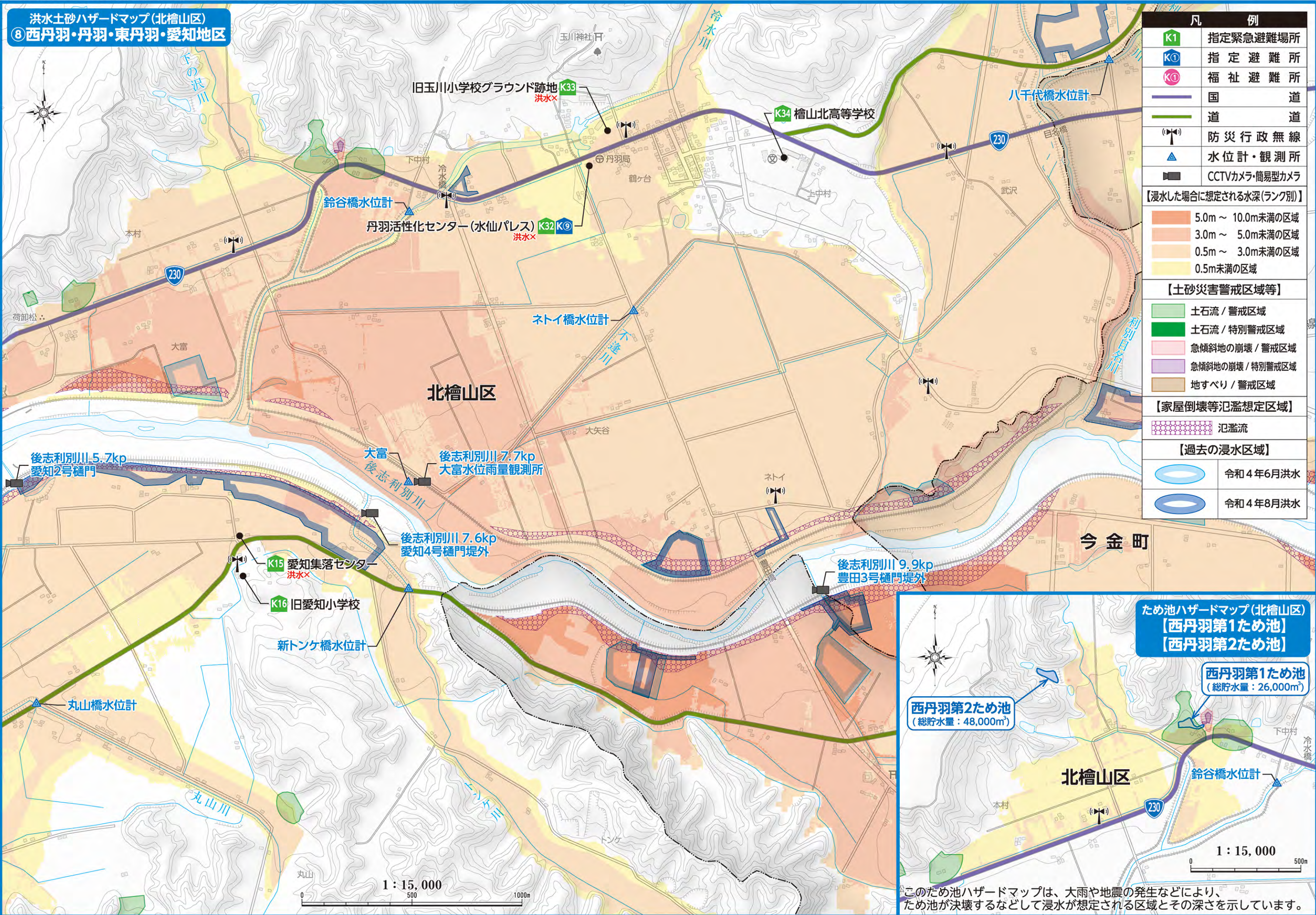


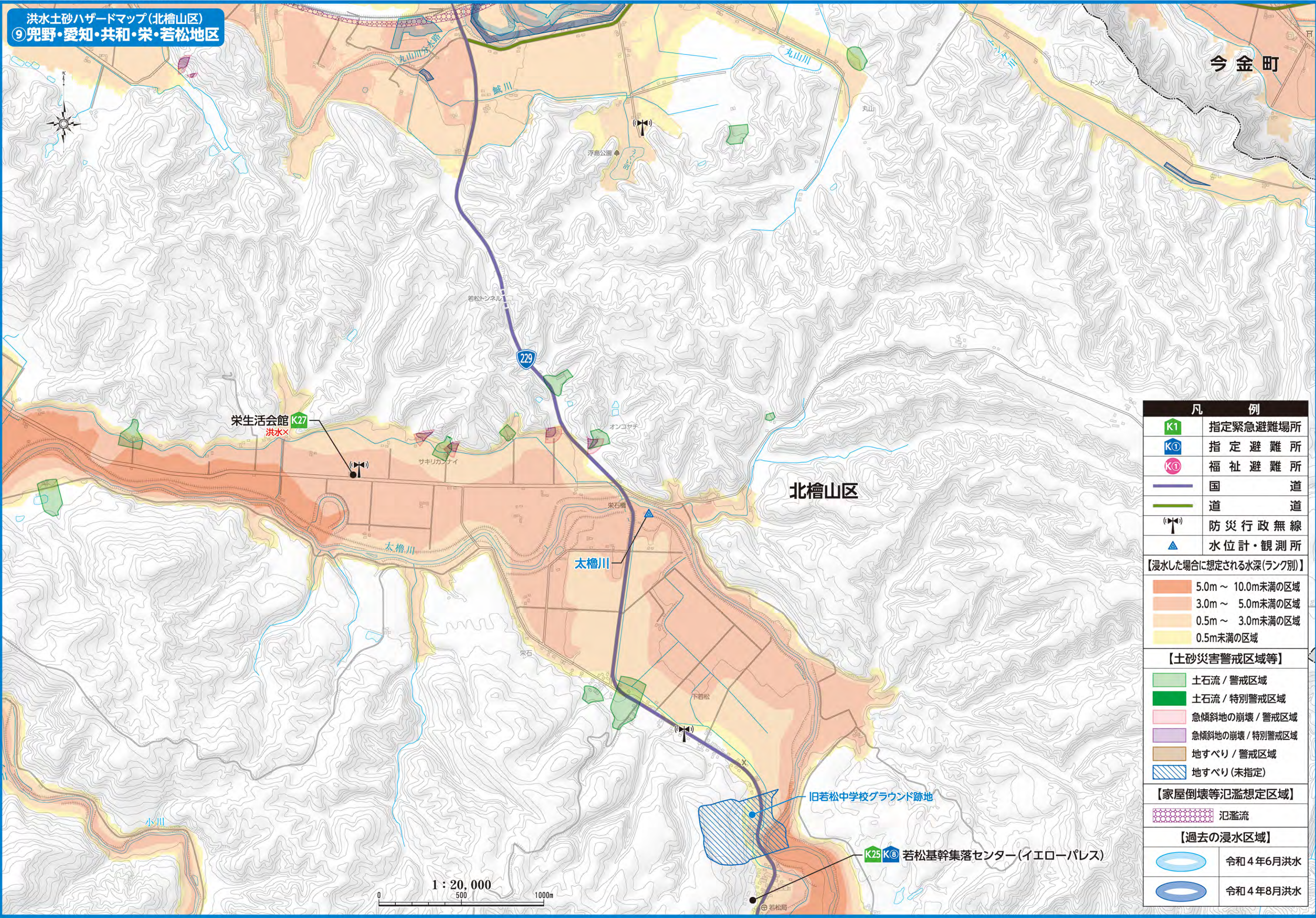
凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難所
	福祉避難所
	国 道
	道 道
	防災行政無線
【土砂災害警戒区域等】	
	土石流 / 警戒区域
	土石流 / 特別警戒区域
	急傾斜地の崩壊 / 警戒区域
	急傾斜地の崩壊 / 特別警戒区域
	地すべり / 警戒区域





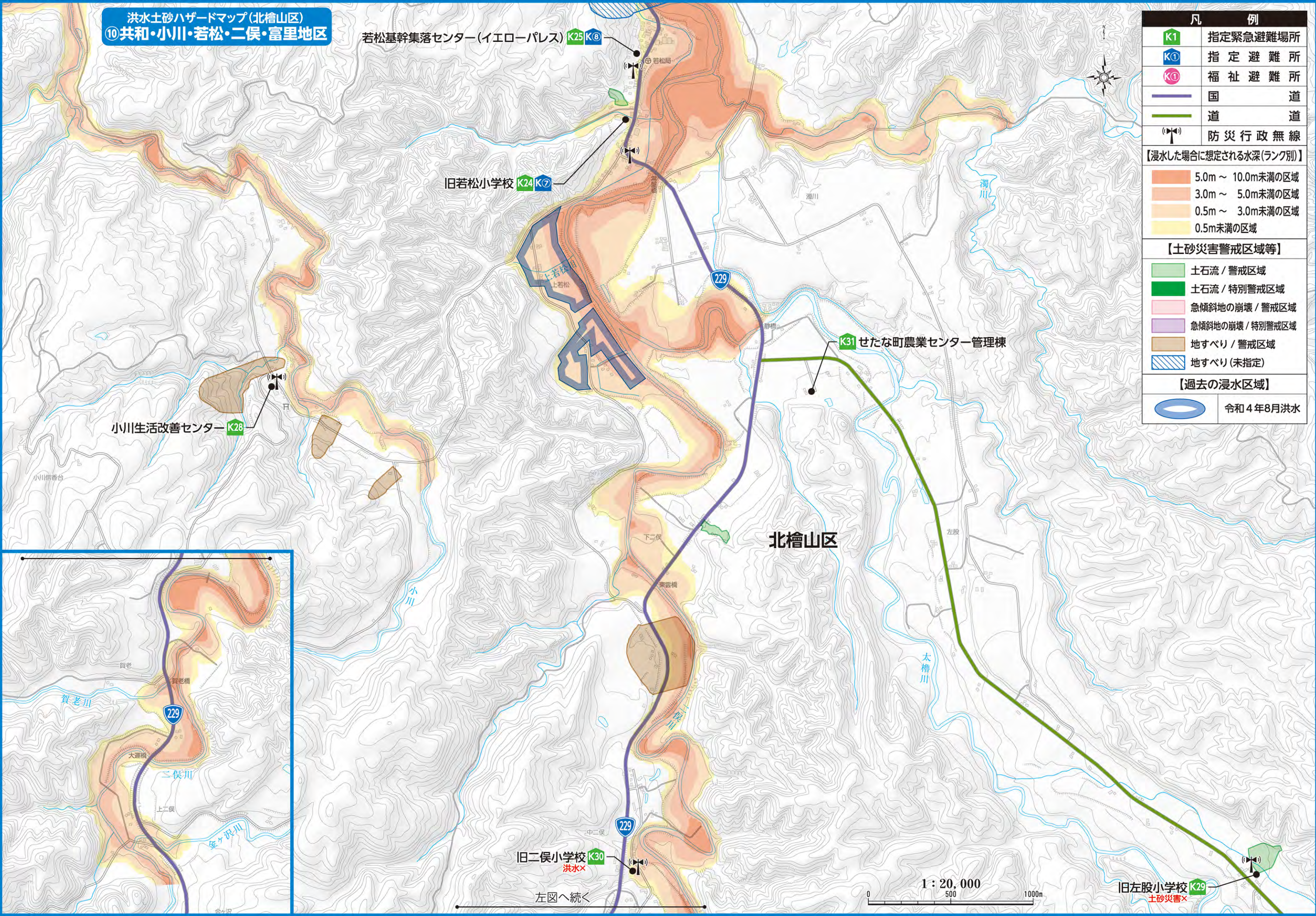


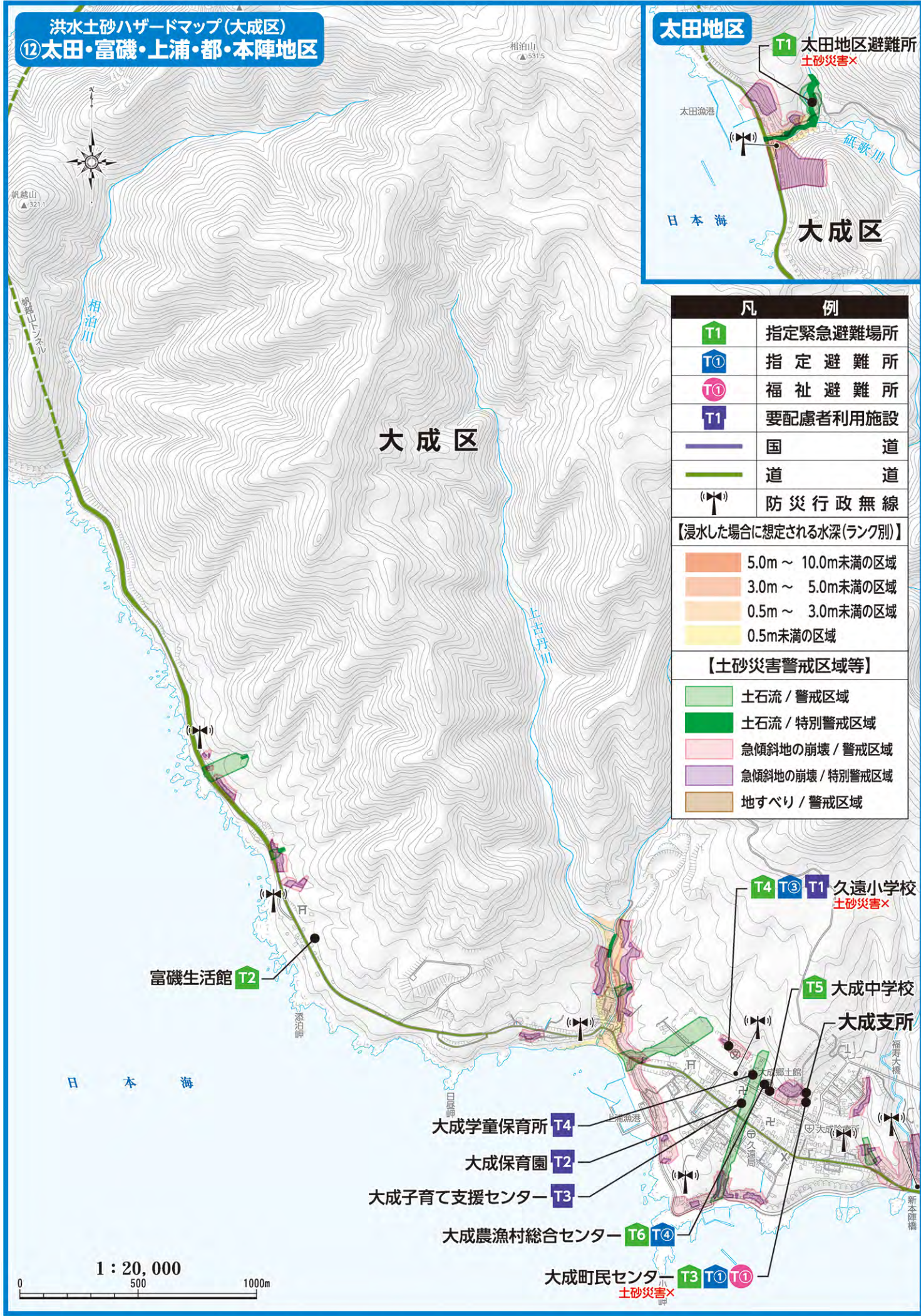
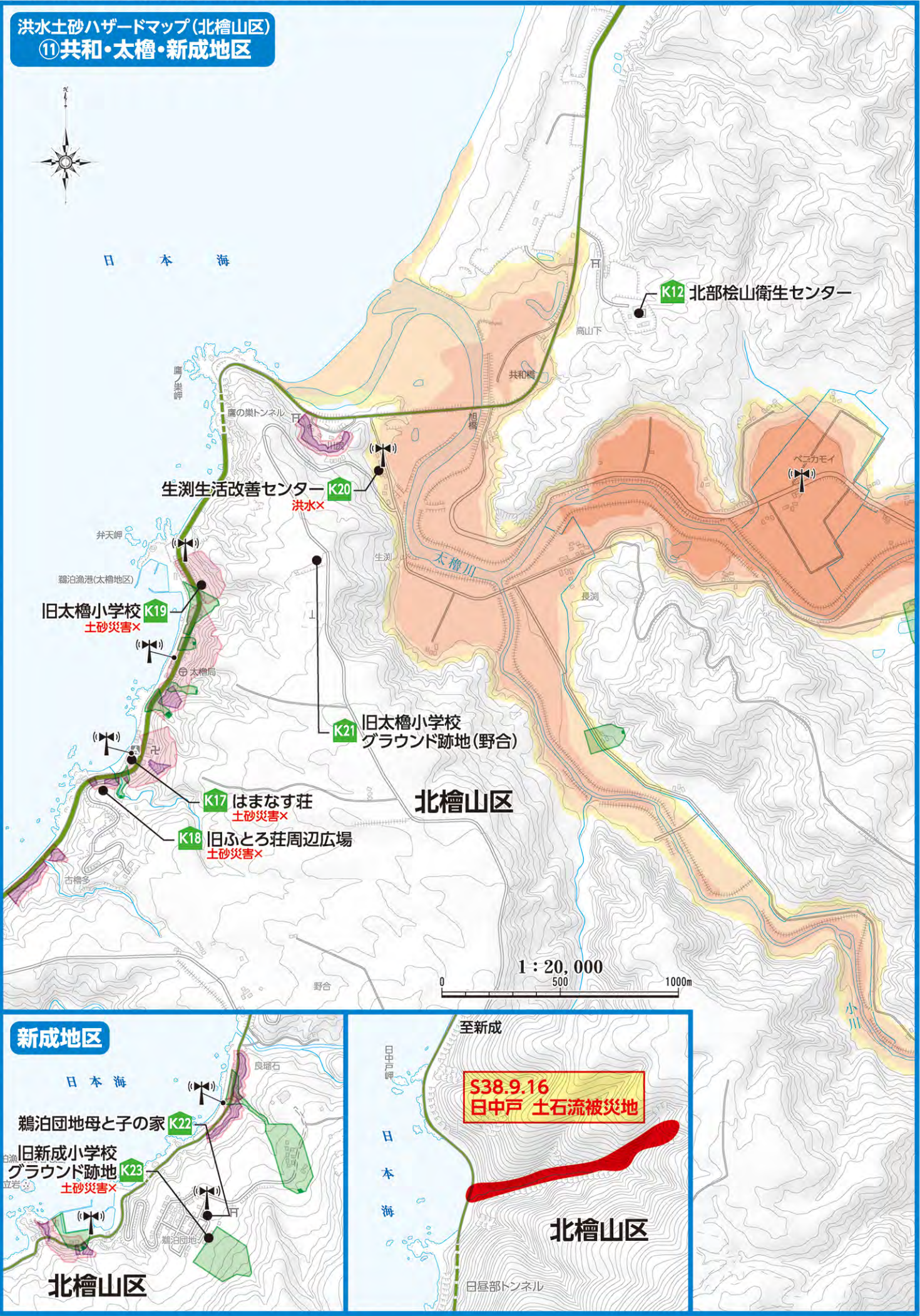


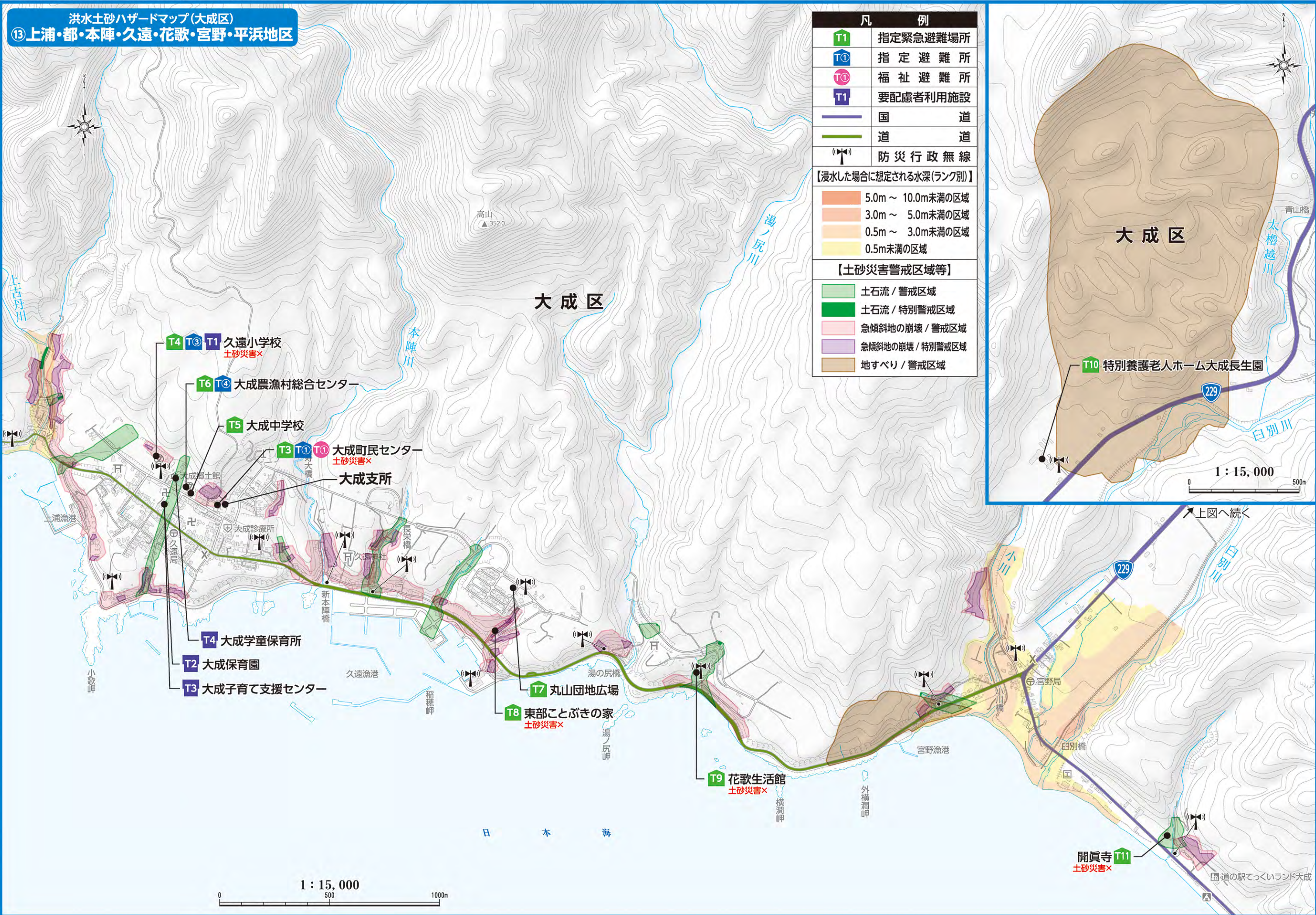


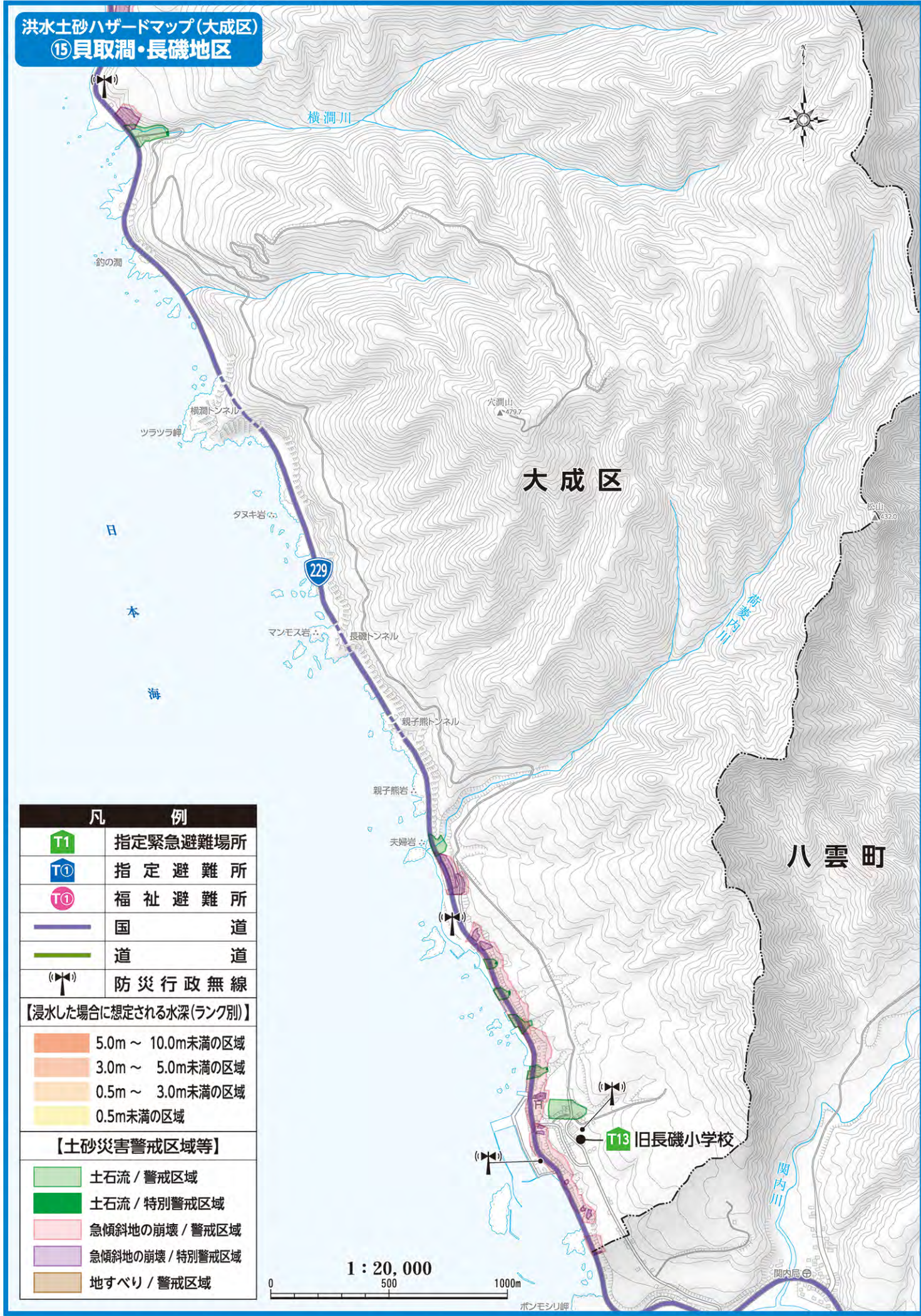
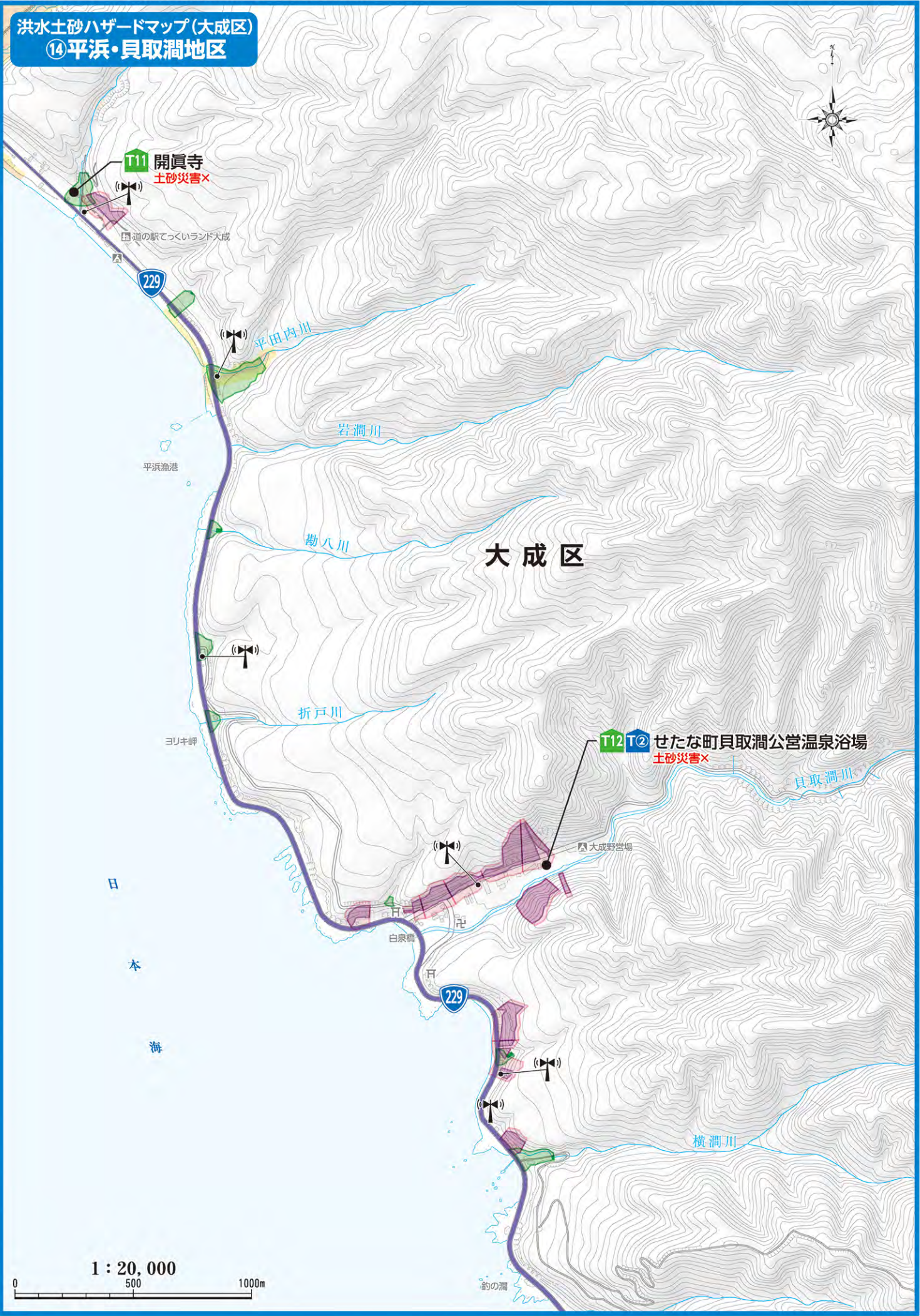
洪水土砂ハザードマップ(北檜山区)
⑨ 兜野・愛知・共和・栄・若松地区

凡 例	
K1	指定緊急避難場所
K①	指 定 避 難 所
K①	福 祉 避 難 所
—	国 道
—	道 道
⚡	防 災 行 政 無 線
▲	水 位 計 ・ 観 測 所
【浸水した場合に想定される水深(ランク別)】	
5.0m ~ 10.0m未満の区域	
3.0m ~ 5.0m未満の区域	
0.5m ~ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	
【土砂災害警戒区域等】	
土石流 / 警戒区域	
土石流 / 特別警戒区域	
急傾斜地の崩壊 / 警戒区域	
急傾斜地の崩壊 / 特別警戒区域	
地すべり / 警戒区域	
地すべり (未指定)	
【家屋倒壊等氾濫想定区域】	
氾濫流	
【過去の浸水区域】	
令和4年6月洪水	
令和4年8月洪水	











災害情報の入手

災害時は様々な情報が錯綜し、混乱を招く場合があります。大切なのは「最新の正しい情報」を入手し、行動することです。普段からどのような情報がどのように入手できるのかを確認しておきましょう。

テレビ・ラジオ SNS・インターネット



様々な媒体を利用して情報を入手しましょう。また、テレビの地デジ放送でも情報が入手できます。テレビリモコンの「**dボタン**」を押してください。

防災行政無線 (戸別受信機・サイレン) スピーカー



せたな町では、災害が発生した場合、災害の規模、災害現場の位置や状況を把握し、いち早く正確な災害情報の伝達手段の確保を目的として、防災行政無線を整備しています。

エリアメール (NTTドコモ) 緊急速報メール (au・ソフトバンクなど)



携帯電話・スマートフォンをご利用の方に、緊急を要する気象・地震・津波などの情報が一斉に配信されます。
※受信は無料ですが、各種対応機種による設定をお願いします。

気象情報・防災情報に注意

台風や豪雨はある程度進路や規模などを予測できるため、普段から気象情報に注意しましょう。気象や防災に関する情報は、テレビやラジオのほか、以下のホームページやSNSなどからも入手できます。

せたな町公式LINE

町政、防災、イベント等、必要な情報の配信を設定できます。

アカウント名「せたな町」
ID「@setana-town」



Yahoo! 防災速報アプリ

設定した地域の気象、避難、河川等の情報がわかります。

for iPhone/iPad



for Android



NHKニュース・防災アプリ

マップ上で雨雲や台風、河川情報をチェック、ライブ放送の同時提供もあります。

for iPhone/iPad



for Android



道路情報

国土交通省
道路情報提供システム
<https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/sp/>



土砂災害情報

北海道
土砂災害警戒情報システム
<https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>



防災情報全般 (警報・注意報/地震/竜巻など)

北海道防災ポータル
<https://www.bousai-hokkaido.jp/>



気象情報

気象庁
函館地方気象台

PC・スマホ版
<https://www.jma-net.go.jp/hakodate-c/>



気象庁サイト
スマホ版
<https://www.jma.go.jp/jma/>



雨量・水位情報

国土交通省
川の防災情報

PC・スマホ版
<https://www.river.go.jp/>



家族で防災会議

災害による被害は日頃の備えによって減らすことが可能です。いざという時に慌てないよう、「自分でできること」「家族でできること」などについて考え、防災意識を高めることが大切です。

役割分担を決めておく!



家の点検をする人、非常持ち出し品を管理する人などの役割分担を決めましょう。また、電気のブレーカーやガスの元栓の位置、消火器の使い方などの確認も忘れずに。

避難場所を確認しておく!



自分の地区の避難場所はどこなのか事前に確認し、実際に避難場所まで歩いてみましょう。安全に通行できるか、危険な箇所はないかなどをチェックしておきましょう。

連絡方法を決めておく!



家族が離れ離れになった時の連絡方法を決めておきましょう。また安否確認方法やその使い方などについても、確認しておきましょう。

集合場所を決めておく!



連絡手段が利用できないことも想定し、家族の集合場所を決めておきましょう。集合場所が被災している場合がありますので、複数の集合場所を決めておくことで安心です。

安否情報などを家族や知人に知らせる方法を確認しておきましょう!

災害用伝言ダイヤル

171

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「**声の伝言板**」です。
※詳しい内容は下記のNTTのホームページで確認してください。
<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/> 171またはNTT 🔍検索

○録音 171 → 1 → 0 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ → 伝言の録音
▶再生 171 → 2 → 0 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ → 伝言の再生

案内放送が流れます... 自宅、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号(市外局番から)

携帯電話災害用伝言板

大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録・確認ができます。
※詳しい内容は各携帯電話会社のホームページ等で確認してください。





安全・安心に避難する

災害時に安全に避難するための注意点などを事前に確認しておきましょう。いざという時の備えが、心の安心につながります。

ガスの元栓を閉める



地震後はガス器具やガス管が壊れている場合があります。ガスが復旧した際のガス爆発の危険を防ぐため、ガスの元栓を閉めましょう。

連絡・メモを残す



避難する際には、自分や家族の安否情報、連絡先などのメモを残しましょう。電話の混線が想定されるので、SNSなどを利用するのも良いでしょう。

避難時の服装



ヘルメットや防災頭巾などで頭を保護
荷物は少なく、動きやすい服装で避難しましょう。

濡れても大丈夫な服装
非常持ち出し品は両手があくリュックがオススメ

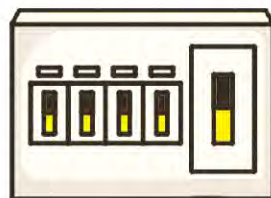
軍手や革手袋などで手を保護

靴は底の厚い履きなれたものを

浸水時に長ぐつは水が入って歩きづらくなるので危険!!



ブレーカーを落とす



停電している時でも必ずブレーカーを落としてから避難してください。停電から復旧した際に「通電火災」が起こる可能性があります。

避難は2人以上が望ましい



特別な事情を除き、避難時は徒歩が原則です。できるだけ1人の避難は避け、子どもが一緒の場合は目を離さないように注意しましょう。

分散避難で「密」を避ける

避難所が過密状態にならないために、「避難所」への避難以外に、「親戚・知人宅」、「ホテルなどの宿泊施設」「車両避難(車中泊※)」、「在宅避難」などさまざまな避難先に、分散して避難することが大切です。

※車中泊は一酸化炭素中毒やエコノミークラス症候群などの健康被害に十分留意することが必要です。

危険性が高い場所にいる場合

避難① 立ち退き避難

指定緊急避難場所・避難所

危険なときは迷わずに指定の緊急避難場所や避難所へ避難しましょう。



分散避難

安全な場所にある知人宅や宿泊施設などへ避難しましょう。



危険性が低い場所にいる場合

避難② 屋内安全確保

在宅避難

避難は立ち退き避難が基本ですが、自宅が避難の及ばない安全な場合のみ可能になります。



要配慮者への思いやりを

高齢者や障がい者、傷病者、幼児、妊産婦、外国人、旅行者などは避難に時間がかかったり、情報や状況を迅速に把握できない場合があります。災害時にはそのような要配慮者に気を配り、地域で協力しあって支援しましょう。



高齢者・傷病者

- 複数で避難支援をする
- 不安を取り除くように声をかける
- 手を貸したり、おぶって避難する



障がい者

- 介助の手助けを
- 耳が不自由な方には、筆談や身振りで対応する



妊産婦・幼児

- 手荷物を持つ等の手助けを
- 子どもがはぐれたり、ケガをしないよう気にかける



外国人

- 正しい情報を伝える
- 言葉が通じない場合は身振りや絵で会話を

避難生活の心得

災害時に不特定多数の人が集まる避難所では、感染症の拡大リスクが高まるため感染症対策やお互いの心くばり・思いやりが必要です。お互いに気持ちよく健康に過ごすために、これらのことを心がけましょう。

ルールを守ろう



消灯時間や食料の配給時間、居室スペースの定めなどさまざまな決まりごとを必ず守りましょう。

自分が使用するものを持参



自分が使うもの、食べるものは持参しましょう。物の共用は感染症のリスクを高めることにもなります。

マスク着用・咳エチケット



感染症の予防のため、マスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。夏場は定期的にマスクを外して休憩し熱中症に気をつけましょう。

こまめに体調チェック



体調の変化を継続的にチェックしましょう。変化があったら避難所の運営者に知らせましょう。

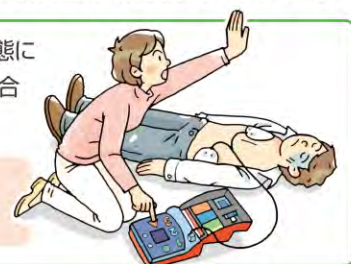
AED(自動体外式除細動器)による救命処置

※日頃からAEDの設置場所を確認しておきましょう。

AED(自動体外式除細動器)は、突然の心停止から、けいれんした心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻すための機械です。付属の電極パッドを傷病者に貼ると自動的に心電図を解析し、除細動が必要な場合のみ電気ショックを加える仕組みで、誰でも安全・確実に除細動が行えます。



AED(自動体外式除細動器)を装着し、音声ガイダンスに従って除細動することは救命に大きな効果があります!



非常持ち出し品



もしもの災害時にすぐ避難できるよう非常持ち出し品(袋)を準備しておきましょう。
中身は自分にとって必要なものを、家族がいる場合は1人分ずつの用意があると安心です。両手が使えるリュックなどを使い、玄関や寝室などに置いておけば、いつでも持ち出すことができます。

☑ 必要なものを書き込み、チェックしてみましょう!

貴重品

- ☐ 現金(10円玉を含む)
- ☐ 預金通帳・印鑑
- ☐ 健康保険証・運転免許証(コピーでも可)
- ☐ 家族写真
- ☐ 親戚・知人等の連絡先メモ
- (家族とはぐれた時などに便利)

情報収集用品

- ☐ 携帯ラジオ・防災ラジオ
- ☐ 乾電池
- ☐ 筆記用具(日光や雨に強いもの)
- ☐ スマートフォンなどの充電器

非常食・飲料水

- ☐ 飲料水
 - ☐ ゼリー飲料や栄養補助食品
 - ☐ 乾パン・缶入りパン
 - ☐ チョコレート・あめなど
- ※食事ではなく、避難行動時のエネルギー補給ができるもの

衣料品・防寒対策用品

- ☐ 雨具(レインコート・ポンチョ)
 - ☐ 使い捨てカイロ
 - ☐ レジャーシート・保温シート
 - ☐ 着替え・防寒具
- ※雨などに濡れた場合に備えて、着替えは1セット分を用意

避難用品

- ☐ ヘルメット・防災頭巾
- ☐ ハザードマップ・地図
- ☐ 懐中電灯・ヘッドライト
- ☐ 底の厚い靴(紐で結ぶもの)
- ☐ ホイッスル
- ☐ 手袋・軍手

救急・衛生用品

- ☐ 絆創膏・消毒液・常備薬(風邪薬・傷薬など)
- ☐ 体温計
- ☐ 包帯・ガーゼ・脱脂綿
- ☐ マスク
- ☐ ピンセット・毛抜き・はさみ
- ☐ ビニール袋
- ☐ 持病薬(おくすり手帳など)
- ☐ 携帯トイレ・生理用品
- ☐ アルコール除菌(シートやジェルなど)
- ☐ ティッシュ・ウェットティッシュ

個別必要品

- ☐ 粉(液体)ミルク・ほ乳びん・消毒剤
- ☐ 大人用紙おむつ・尿とりパッド
- ☐ ベビーフード・おやつ
- ☐ 予備メガネ・補聴器
- ☐ 紙おむつ・おしりふき
- ☐ 入れ歯・洗浄剤
- ☐ 抱っこひも・授乳用ポンチョ
- ☐ 携帯用杖
- ☐ 母子手帳(コピー)
- ☐ 介護用品
- ☐ 絵本・おもちゃ
- ☐ ペット用品

安心を備える!
日常備蓄

災害が発生した場合に備え、少なくとも3日間以上を自活できるよう、食料品・飲料水・日用品などを多めに買い置きしておく「日常備蓄」で、安心と一緒に備えましょう。



ローリングストック法の実践

日常の食料品と災害用の食料品とを分けずに、常に少し多めに一定量の食料品を家に備蓄しておき、日常生活で消費した分だけ購入し備蓄する方法をローリングストック法と言います。ローリングストック法のポイントは、食料品を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができます。



①古いものから使うこと

備蓄する食料が古くなってしまわないよう、必ず一番古いものから使うようにしましょう。新しいものを奥に配置し、手前の古いものから使っていく、というように、備蓄方法のルールを決めて上手に循環させることが大切です。

②使った分は必ず補充すること

ストックしているものはいつ食べても構いませんが、消費した分は必ず買い足すようにしましょう。補充を怠ったタイミングで災害が来る可能性もあります。消費した分の補充は必ず直後に行いましょう。

避難所一覧表



避難所は災害の規模や状況に応じて開設されます。
避難所開設の際は、防災行政無線等で町民のみなさんにお知らせします。

指定避難所

災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまでの期間滞在し、または災害により自宅に戻れなくなった住民等が一時的に避難生活をする施設です。

番号	地区	施設名	住所	電話番号	AED	海拔
K①	北檜山区	せたな町民ふれあいプラザ	徳島8-1	0137-84-5563	○	6m
K②		せたな町青少年女性研修所	北檜山113-1	0137-84-5390	—	5m
K③		温泉ホテルきたひやま	徳島4-16	0137-84-4120	—	6m
K④		北檜山小学校体育館	豊岡200	0137-84-5424	○	10m
K⑤		北檜山中学校体育館	豊岡233-1	0137-84-5345	○	19m
K⑥		せたな町青少年センター	豊岡212-2	—	—	10m
K⑦		旧若松小学校体育館	若松461	—	—	22m
K⑧		若松基幹集落センター(イエローパレス)	若松513-1	0137-85-1095	—	22m
K⑨		丹羽活性化センター(水仙パレス)	丹羽5-7	0137-84-5211	—	15m
S①	瀬棚区	瀬棚総合福祉センターやすらぎ館	本町948-7	0137-87-3841	○	11m
S②		瀬棚ふれあいセンター	共和590-4	—	—	64m
S③		瀬棚小学校体育館	本町513-1	0137-87-3064	○	5m
S④		瀬棚中学校体育館	共和404-1	0137-87-3104	○	36m
S⑤		旧馬場川小学校体育館	西大里310-4	—	—	63m
T①	大成区	大成町民センター	都425	01398-4-5511	—	37m
T②		せたな町貝取潤公営温泉浴場	貝取潤386-1	01398-4-5522	—	15m
T③		久遠小学校体育館	都366	01398-4-5018	○	37m
T④		大成農漁村総合センター	都387	—	○	36m

福祉避難所

避難生活が長期にわたる場合に、介護が必要な方や障がいのある方など一般の避難所での生活が困難な方が避難生活をする施設です。

※福祉避難所は必要に応じて開設されるため、最初是最寄りの指定避難所に避難してください。

番号	地区	施設名	住所	電話番号	AED	海拔
K①	北檜山区	せたな町民ふれあいプラザ	徳島8-1	0137-84-5563	○	6m
S①	瀬棚区	瀬棚総合福祉センターやすらぎ館	本町948-7	0137-87-3841	○	11m
T①	大成区	大成町民センター	都425	01398-4-5511	—	37m

指定緊急避難場所一覧表



津波、洪水、土砂災害等が発生するおそれがある場合や災害が発生した時に、緊急的に避難し住民等の安全を確保するため**避難する場所**です。

番号	地区	施設名等	住所	電話番号	洪水	土砂災害	高潮	津波	広域災害	海拔
K1	北檜山	せたな町民ふれあいプラザ	徳島8-1	0137-84-5563	×	○	○	○	○	6m
K2		せたな町青少年女性研修所	北檜山113-1	0137-84-5390	×	○	○	○	○	5m
K3		温泉ホテルきたひやま	徳島4-16	0137-84-4120	×	○	○	○	○	6m
K4		北檜山スポーツ公園グラウンド	北檜山171-1	—	×	○	○	○	○	5m
K5	徳島	せたな町高齢者センター(グリーンパレス)	徳島49-1	0137-84-6478	×	○	○	○	○	7m
K6		狩場葬苑	徳島554-2	0137-84-6157	○	○	○	○	○	42m
K7	豊岡	せたな町民体育館	豊岡212-2	0137-84-5044	○	○	○	○	○	10m
K8		せたな町青少年センター	豊岡212-2	—	○	○	○	○	○	10m
K9		せたな町真駒内球場	豊岡237-1	—	○	○	○	○	○	17m
K10		北檜山小学校	豊岡200	0137-84-5424	○	○	○	○	○	10m
K11		北檜山中学校	豊岡233-1	0137-84-5345	○	○	○	○	○	19m
K12	兜野	北部松山衛生センター	共和120-5	0137-86-0070	○	○	○	○	○	28m
K13		兜野神社	兜野162-3	—	○	○	○	○	○	19m
K14	松岡	真駒内ダム公園休憩所	松岡158-1	—	○	○	○	○	○	82m
K15	愛知	愛知集落センター	愛知837-6	—	×	○	○	○	○	7m
K16		旧愛知小学校	愛知928	—	○	○	○	○	○	12m
K17	太櫓	はまなす荘	太櫓373-5	0137-86-0458	○	×	×	×	○	5m
K18		旧ふとろ荘周辺広場	太櫓427	—	○	×	○	○	○	25m
K19		旧太櫓小学校	太櫓141	—	○	×	○	×	○	9m
K20	共和	生測生活改善センター	共和616-2	—	×	○	○	○	○	6m
K21		旧太櫓小学校グラウンド跡地(野合)	太櫓82-1	—	○	○	○	○	○	50m
K22	新成	鵜泊団地母と子の家	新成217-1	—	○	○	○	○	○	68m
K23		旧新成小学校グラウンド跡地	新成204-1	—	○	×	○	○	○	73m
K24	若松・栄	旧若松小学校	若松461	—	○	○	○	○	○	22m
K25		若松基幹集落センター(イエローパレス)	若松513-1	0137-85-1095	○	○	○	○	○	22m
K26		旧若松中学校グラウンド跡地	若松525	—	×	×	○	○	○	18m
K27		栄生活会館	栄46-1	—	×	○	○	○	○	8m
K28	小川	小川生活改善センター	小川155	—	○	○	○	○	○	94m
K29	富里	旧左股小学校	富里213	—	○	×	○	○	○	101m
K30	二俣	旧二俣小学校	二俣271	—	×	○	○	○	○	40m
K31		せたな町農業センター管理棟	二俣55-1	0137-85-1276	○	○	○	○	○	42m
K32	西丹羽・丹羽・東丹羽	丹羽活性化センター(水仙パレス)	丹羽5-7	0137-84-5211	×	○	○	○	○	15m
K33		旧玉川小学校グラウンド跡地	丹羽1-5	—	×	○	○	○	○	15m
K34		檜山北高等学校	丹羽360-1	0137-84-5331	○	○	○	○	○	24m
K35	小倉山	旧小倉山小学校	小倉山567	—	○	○	○	○	○	163m
S1	瀬棚区市街地	瀬棚総合福祉センターやすらぎ館	本町948-7	0137-87-3841	○	○	○	○	○	11m
S2		瀬棚ふれあいセンター	共和590-4	—	○	○	○	○	○	64m
S3		瀬棚小学校	本町513-1	0137-87-3064	×	○	○	×	○	5m
S4		瀬棚中学校	共和404-1	0137-87-3104	○	○	○	○	○	36m
S5		せたな町B&G海洋センター体育館	本町559	0137-87-3236	○	×	○	○	○	9m
S6		せたなスポーツ広場	本町559	—	○	○	○	○	○	9m
S7		せたな町三杉球場	本町559	—	×	○	○	○	○	7m
S8		瀬棚町民センター	本町638	0137-87-2239	○	○	○	○	○	7m
S9		瀬棚老人と母と子の家	本町764-1	—	○	○	○	○	○	9m
S10		瀬棚水産物保管作業所	三本杉69	—	○	×	○	×	○	7m

※災害の種類が「×」の場合は、その災害時の避難場所としては適さない場所です。

番号	地区	施設名等	住所	電話番号	洪水	土砂災害	高潮	津波	広域災害	海拔
S11	元浦	元浦地区避難所	元浦105	—	○	×	○	○	○	19m
S12		元浦漁村センター	元浦439	—	○	×	○	×	○	9m
S13		稲荷神社境内	元浦446	—	○	×	○	○	○	13m
S14	島歌	旧島歌小学校	島歌193	—	×	×	○	×	○	10m
S15		白岩漁村センター	島歌165-2	—	×	○	○	×	○	5m
S16		吹込青年研修所	島歌343	—	○	×	○	×	○	7m
S17		島歌生活館	島歌373	—	○	×	○	×	○	6m
S18	北島歌	北島歌青年研修所	北島歌58	—	○	×	○	○	○	13m
S19		北島歌へき地保健福祉館	北島歌357	—	○	○	○	×	○	7m
S20		旧須築小学校グラウンド跡地	北島歌283	—	○	×	○	×	○	7m
S21	共和	共和生活改善センター	共和312	—	×	○	○	○	○	10m
S22	東・西大里	旧馬場川小学校	西大里310-4	—	○	○	○	○	○	63m
T1	太田	太田地区避難所	太田298	—	○	×	○	○	○	26m
T2	富磯	富磯生活館	富磯61-9	—	○	○	○	○	○	21m
T3	上浦・都・本陣・久遠(西部)	大成町民センター	都425	01398-4-5511	○	×	○	○	○	37m
T4		久遠小学校	都366	01398-4-5018	○	×	○	○	○	37m
T5		大成中学校	都421	01398-4-5047	○	○	○	○	○	36m
T6		大成農漁村総合センター	都387	—	○	○	○	○	○	36m
T7	久遠(東部)	丸山団地広場	久遠311-71	—	○	○	○	○	○	42m
T8		東部ことぶきの家	久遠357-2	01398-4-6461	○	×	○	○	○	14m
T9	花歌	花歌生活館	花歌168-2	01398-4-5877	○	×	○	○	○	19m
T10	宮野	特別養護老人ホーム 大成長生園	宮野525-2	01398-4-6411	○	○	○	○	○	20m
T11	平浜	開真寺	平浜407	01398-4-5336	○	×	○	×	○	6m
T12	貝取潤	せたな町貝取潤公営温泉浴場	貝取潤386-1	01398-4-5522	○	×	○	○	○	15m
T13	長磯	旧長磯小学校	長磯456	—	○	○	○	○	○	29m

要配慮者利用施設

社会福祉施設、病院、保育園、学校等、災害の際に配慮が必要な方が利用されている施設の情報です。

【洪水浸水想定区域内】

番号	施設名	住所
K1	せたな町立国保病院	北檜山区北檜山378
K2	道南ロイヤル病院	北檜山区北檜山322-4
K3	デイサービスさくら	北檜山区北檜山193-1
K4	グループホームはるかぜ	北檜山区徳島58-14
K5	せたな町障がい者グループホームのぞみ	北檜山区北檜山235-1

【津波災害警戒区域内】

番号	施設名	住所
S1	瀬棚小学校	瀬棚区本町513-1

【土砂災害警戒区域内】

番号	施設名	住所
T1	久遠小学校	大成区都366
T2	大成保育園	大成区都332
T3	大成子育て支援センター	大成区都332
T4	大成学童保育所	大成区都386

